

第1回 武豊町総合計画審議会 次第

日 時 令和2年2月5日(水)

午後1時30分から

午後3時30分まで

場 所 武豊町役場 第2・3・4会議室

開 会

- 1 町長あいさつ
- 2 総合計画条例及び総合計画審議会規則について・・・・・・・・・・資料1
- 3 委嘱状交付
- 4 委員等の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
- 5 審議会会長の選出
- 6 審議会会長あいさつ
- 7 諮問
- 8 議事(審議)
 - (1) 総合計画の概要について・・・・・・・・・・資料3
 - (2) 第6次武豊町総合計画策定の経過について・・・・・・・・資料4～8
 - (3) 第5次総合計画成果指標について・・・・・・・・資料9
 - (4) 第6次武豊町総合計画(案)について
 - ア 基本構想(案)について・・・・・・・・・・資料10
 - イ 基本計画(案)について・・・・・・・・・・資料11・12
- 9 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料13
- 10 閉 会

-
- 資料 1 武豊町総合計画審議会条例・総合計画審議会規則
- 資料 2 総合計画審議会委員名簿
- 資料 3 総合計画の概要・総合計画をご家庭に置き換えると
- 資料 4 第6次武豊町総合計画策定フロー・施策の体系
- 資料 5 第6次武豊町総合計画策定に係る意識調査〔アンケート〕の結果【概要】
- 資料 6 団体ヒアリングのまとめ
- 資料 7 地区別懇談会のまとめ
- 資料 8 まちづくり会議のまとめ
- 資料 9 第5次総合計画 成果指標一覧
- 資料10 第6次総合計画基本構想(案)
- 資料11 第6次総合計画基本計画(案)(一部提示)
- 資料12 武豊町におけるSDGsの取組みについて
- 資料13 総合計画審議会のスケジュールについて

参考資料 第5次武豊町総合計画

○武豊町総合計画条例

令和元年9月26日条例第5号

武豊町総合計画条例

(趣旨)

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な町政の運営を図るための総合計画の策定について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 本町の将来像及びそれを実現するためのまちづくりの目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想を実現するための施策の基本的方向を示すものをいう。
- (4) 実施計画 基本計画に基づく具体的事業を示すものをいう。

(総合計画の策定)

第3条 町長は、本町における総合的かつ計画的な町政の運営を図るため、総合計画を策定するものとする。

(総合計画審議会)

第4条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、町長の附属機関として、武豊町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 前項に規定するもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、規則で定める。

(総合計画審議会への諮問)

第5条 町長は、総合計画を策定するときは、あらかじめ、前条に規定する武豊町総合計画審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第6条 町長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経なければならない。

(基本計画及び実施計画の策定)

第7条 町長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(総合計画との整合性の確保)

第8条 個別の行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当た

っては、総合計画との整合を図るものとする。

(公表)

第9条 町長は、総合計画を策定し又は変更をしたときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(武豊町総合計画審議会条例の廃止)

2 武豊町総合計画審議会条例（昭和48年条例第19号）は、廃止する。

○武豊町総合計画審議会規則

令和元年9月26日規則第5号

武豊町総合計画審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、武豊町総合計画条例（令和元年条例第5号）第4条第1項の規定に基づき、武豊町総合計画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じて次に掲げる総合計画の策定に関する事項について、必要な調査及び審議を行い、その意見を答申するものとする。

- (1) 武豊町総合計画基本構想に関すること。
- (2) 武豊町総合計画基本計画に関すること。
- (3) その他町長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員25人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 町教育委員会の委員
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 知識経験を有する者
- (4) 公募による者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、町長が必要と認める者

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から、審議会における調査及び審議が終了し、その結果を町長に答申するまでの期間とする。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

- 2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 審議会は、必要があると認めるときは、審議会の会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行後最初に開かれる審議会は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が招集する。

武豊町総合計画審議会委員名簿

資料 2

	区分	氏名	役職等
1	町教育委員会の委員	出口 智康	武豊町教育委員会代表
2	各種団体の代表者	西尾 文好	武豊町農業委員会会長
3		竹内 宏行	武豊町勤労者代表(連合愛知知多地域協議会副代表)
4		天木 一馬	武豊町商工会長
5		土屋 富好	あいち知多農業協同組合武豊地域担当理事代表
6		高橋 勝彦	武豊町経営者懇談会代表
7		木村 保夫	武豊町社会福祉協議会長
8		榊原 邦夫	武豊町文化協会会長
9		山内 輝男	武豊町老人クラブ連合会長
10		澤田 憲吾	武豊町子ども会育成連絡協議会長
11		田中 稔	武豊町スポーツ協会会長
12		井上 久枝	武豊町ボランティアセンター代表
13	知識経験を有する者	花田 鮎美	まちづくり会議代表
14		鈴木 政司	長尾部長
15		羽山 和彦	大足区長
16		岩瀬 計介	富貴地区区長会長
17		千頭 聡	日本福祉大学教授
18		村井 琢磨	愛知県 総務局 総務部市町村課 地域振興室 兼 愛知県尾張県民事務所 知多県民センター 県民防災安全課
19	公募による者	靱山 淳一	
20		高木 正博	
21		新美 結花	
22		旭形 幸彦	
23		藤野 由香梨	
24		植田 智紀	
25		水上 薫	

1 総合計画とは

総合計画は、将来、武豊町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかをまとめたもので、町の子育て支援や福祉、都市計画、環境といったすべての計画の基本となるものです。

町では、3年度から12年度の10年間を計画期間とする「第6次武豊町総合計画」の策定を進めています。

武豊町総合計画は、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」の3層構造としています。

2 基本構想とは (期間：10年間)

下記の内容を掲げ計画期間の10年間で目指すまちの方向性を示します。

- ・まちの将来像(テーマ)(第5次計画は「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」)を掲げます
- ・まちの課題から町としてのまちづくりの目標を掲げます
- ・町の主要指標の人口、就業者数、住民満足度を示します
- ・土地利用の方法、概略図を示します。
- ・総合計画の計画の体系を示します。

3 基本計画とは (期間：前期5年、後期5年)

まちの課題を9つの分野に分け基本計画を作ります

各基本計画に下記の内容を記載し基本計画ごとに町の取組む内容を示します。

(5年で中間見直しをします)

- ・現状と課題
- ・目指す姿
- ・成果指標(数値目標)
- ・施策方針(町の取組む内容)
- ・関連計画名(個別計画名)



4 実施計画とは (期間：毎年)

先の3年間をひとくりとした計画で毎年策定します。

例：今年度の令和元年は 令和2年度・3年度・4年度に行う具体的なことを決めました

5 第6次総合計画策定スケジュール

		2018年度		2019年度			2020年度			
		8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	4~7月	8~11月	12~3月	
策定スケジュール	基本構想案の検討				→				議決	
	基本計画案の検討				→					
町民参画	アンケート	→							パブリックコメント実施	
	団体ヒアリング		→							
	地区別懇談会				→					
	まちづくり会議				→					
	審議会(各種団体の代表等)				→					
庁内会議	策定委員会(町幹部・6部長)		→							
	策定部会(町職員)			→						

町民とともに計画策定を進めます

総合計画をご家庭に置き換えると

- 家庭の将来像
 <健康で笑顔の絶えない明るい家庭>
- 家族の目標
- 家族のデータ
 (家族の人数、家族で働く人の数、家族の満足度)
- 土地の利用方法
- 計画体系

基本構想

基本計画 4

家族で思い出を
たくさん作る

- A 現状と課題
- B めざす姿
 楽しい思い出を
作ることで強い
きずなを持った
家族の姿
- C 数値目標
- D 施策方針
 めざす姿になる
ためにすること
- E 個別計画名

基本計画 3

地域の活動に積
極的に参加する

- A 現状と課題
- B めざす姿
 お祭り・草刈りに
参加して家族で
地域の一員とな
る姿
- C 数値目標
- D 施策方針
 めざす姿になる
ためにすること
- E 個別計画名

基本計画 2

家族の健康づく
りを進める

- A 現状と課題
- B めざす姿
 家族全員が1年
中健康に過ごす
姿
- C 数値目標
- D 施策方針
 めざす姿になる
ためにすること
- E 個別計画名

基本計画 1

こどもを健やか
に育てる

- A 現状と課題
- B めざす姿
 人にやさしく毎
日元気に過ごす
子の姿
- C 数値目標
- D 施策方針
 めざす姿になる
ためにすること
- E 個別計画名

基本計画

個別計画

個別計画

個別計画

個別計画

先の3年間をひと
くくりとした計画
(毎年作ります)

例：
今年度、令和元年は
令和2年度・3年
度・4年度に行う具
体的なことを決め
ました

先の3年間をひと
くくりとした計画
(毎年作ります)

例：
今年度、令和元年は
令和2年度・3年
度・4年度に行う具
体的なことを決め
ました

先の3年間をひと
くくりとした計画
(毎年作ります)

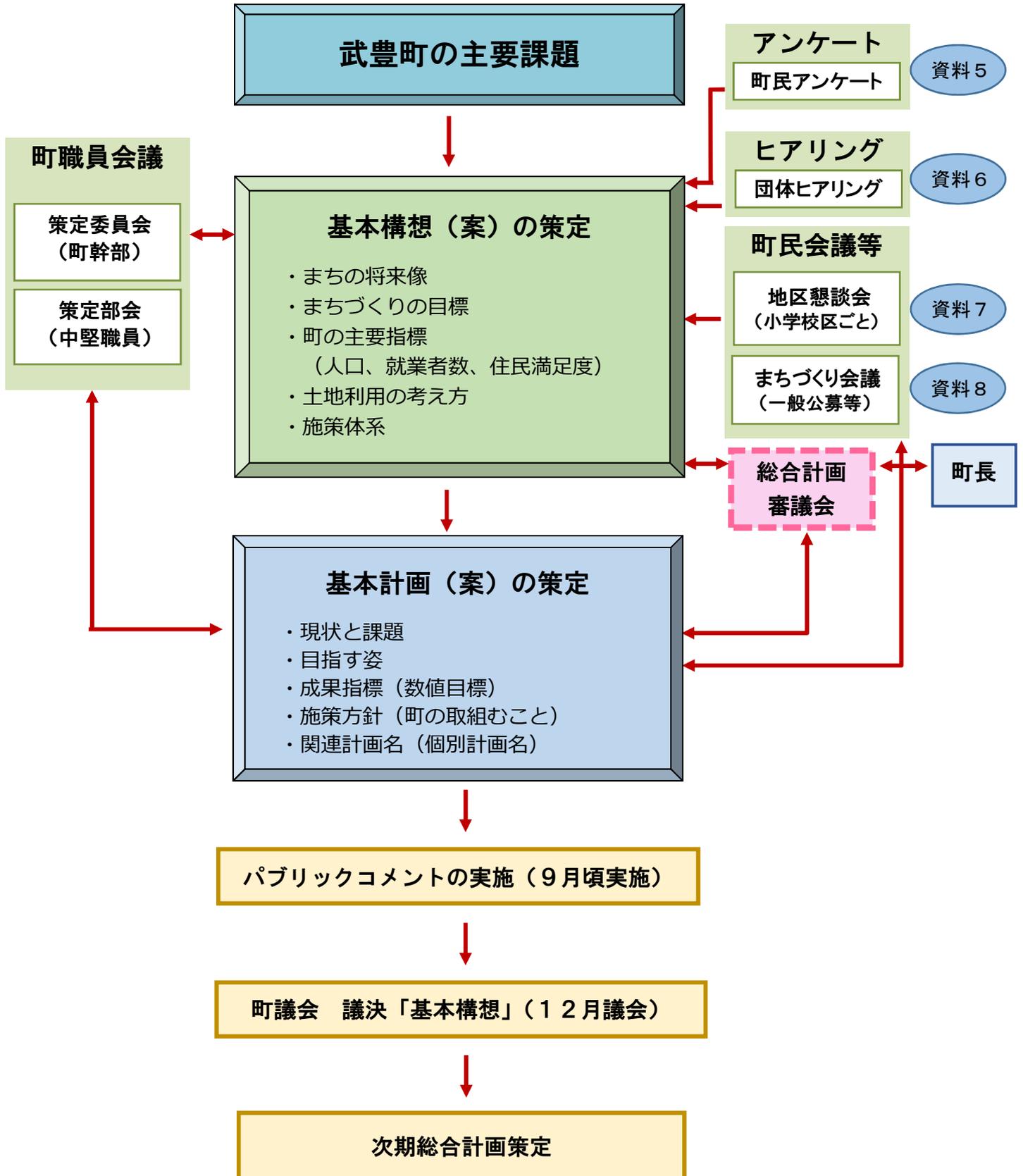
例：
今年度、令和元年は
令和2年度・3年
度・4年度に行う具
体的なことを決め
ました

先の3年間をひと
くくりとした計画
(毎年作ります)

例：
今年度、令和元年は
令和2年度・3年
度・4年度に行う具
体的なことを決め
ました

実施計画

第6次武豊町総合計画策定フロー



1. 第6次武豊町総合計画 (まちの現状 → まちの課題の整理)

①現状確認

A. 社会潮流の変化

- ① 少子高齢社会から「人口減少社会」へ
：人口減少の時代に、社会制度や経済状況に影響大。
- ② 超高齢社会を乗り越える「生涯現役社会」への転換
：高齢者が健康で自立して活動できる環境の整備が必要。
- ③ 「持続可能な社会」の実現に向けた取組の広がり
：SDGs が国連で採択、目標達成に向けた取組が必要。
- ④ 「第四次産業革命」という新たな段階を迎える産業社会
：IoT、Big・data、AI、ロボット等の技術が社会を変革。
- ⑤ 高速交通網の整備による「スーパー・メガリージョン^{※1}」の構築
：三大都市圏が一体化し世界を先導する大経済圏を形成。
※1：国土交通省の検討会が提唱している巨大経済圏構想のこと。
- ⑥ 「多様性」を認めあう社会づくりの推進
：年齢、性別、国籍等に関係なく人が活躍できる社会に。
- ⑦ 「リスク社会」における安全・安心な暮らしの担保
：災害、環境、産業等様々なリスクへの責任と対応が必要。
- ⑧ 「2020年改革」で大きく変動する教育環境
：国際教育の強化をはじめ教育にかかわる問題が多様化。
- ⑨ 「地方創生」による地方分権の深化
：財政状況の逼迫と行財政改革の進展。
：地方での雇用創生、地方への人口移動等の促進。
- ⑩ 協働を通じた「新しい公共」の創出
：行政だけに頼らない、公共サービスの提供主体の必要性。
- ⑪ 「インフラ老朽化」に対応する行政経営戦略
：インフラの補修修繕、維持管理のコストが増大。

C. 町民意向(アンケート調査・団体ヒアリング結果)

- ① 総じて8割以上が住みやすいと評価
：町民の評価は高い。一方、外(他市町)からは「暮らしにくそう」との評価。
- ② 幸福度は6.8点(前回7.0点)、ほぼ横ばいで推移
- ③ 8割以上が武豊町に愛着があると回答
：学生の8割以上は「武豊町のことが好き」と回答。
- ④ 町の自慢は、「山車・祭りなどの伝統文化」と「良好な居住環境」
：外(他市町)からみると、悪いイメージを持つ人は少ないが、明確なプラスのイメージも持たれない。
- ④ 重点改善分野は、1)安全な道路、2)働きながら子育てしやすい環境、3)公共交通等の移動環境、4)住民に満足される行政サービス、の4項目
- ⑤ 将来の町のイメージの上位は、1)医療・福祉が充実したまち、2)安全・安心のまち、3)便利で快適に暮らせるまち

B. まちの特性

	武豊町の強み	武豊町の弱み
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は微増傾向(社会増傾向が続く) ・周辺自治体とは転入超過 ・高齢化率は県平均並み 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市、東海市、常滑市、首都圏に対し転出超過 ・若い世代の男女比が大きい(女性が少ない)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部、内陸工業団地に製造業が集積、事業所では多様な業種が立地 ・企業部門の投資・消費額は流入超過 ・農業、花き、酪農、肉用牛、養鶏の生産額が多く、多様性に富む 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷額では特定業種への依存度が高い ・個人消費は流出超過(商業機能は弱い) ・昼夜間人口比率はマイナス、就業は町外への依存度が高い(雇用力は低い)
交通・市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・南知多道路、名鉄線・JR線など広域交通の利便性は確保(名古屋の通勤圏) ・土地区画整理事業地区への人口転入 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の幹線道路の未整備区間や町道の中の狭あい道路の割合が高い(「安全に道路を通行」の満足度低い) ・中心市街地の空洞化
居住・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気候は温暖 ・居住環境の評価が高い(8割は住みやすいと評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅都市としてのイメージが弱い(アピール力が弱い)
自然・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・町の南は南知多県立自然公園に指定 ・寺町田湿地植物群落 ・みそ・たまり等の地場産業、みそ蔵の町並み ・山車まつり、浦島太郎伝説のまち(伝統文化は町の自慢) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としての知名度が低い
行財政	<ul style="list-style-type: none"> ・財政力指数は1.03(2018年度)、1.0付近で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の55%が建築後31年を経過

D. 将来人口予測(2030年人口) ※住基ベースで試算

〇2025年ごろをピークに人口は減少と予想される。

人口推計結果	2019年	2020年	2025年	2030年
人口(全体)	43,642	43,709	43,943	43,684
0~14歳人口	6,064	5,969	5,505	5,118
15~64歳人口	26,745	26,796	26,966	26,641
65歳以上人口	10,833	10,943	11,472	11,926
0~14歳人口比率	13.9%	13.7%	12.5%	11.7%
15~64歳人口比率	61.3%	61.3%	61.4%	61.0%
65歳以上人口比率	24.8%	25.0%	26.1%	27.3%

E. 策定部会(中堅職員による会議)でまとめた まちの課題

〇22の「めざすべきまちの姿」ごとに、町の主要課題と第6次武豊町総合計画に向けた方向性を検討・整理。

②町の主要課題

1. 住宅都市としての魅力の向上と定住人口の確保

- ・本町の大きな「強み」である“住みやすさ”に着目し、住宅都市としての魅力を高め、新しい住民を受け入れていく積極的な戦略が不可欠。
- ・ハード、ソフトの両面から定住環境整備を強く進める必要がある。
- ・住宅都市(暮らしやすいまち)としてのブランドイメージの確立を目指し、町の魅力を積極的に情報発信していく必要がある。

2. 子育てしやすい環境づくり

- ・安心して子どもを育てることができる町としてのイメージを浸透させていく必要がある。
- ・子育て世帯の働き方に応じたニーズを的確にとらえつつ、多様な子育て支援を展開し、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要がある。
- ・家庭だけで子育てすることの不安や負担を軽減するために、地域ぐるみで子育てを支え合う環境づくりを展開していくことも必要である。

3. 産業発展基盤の強化と新たな雇用確保

- ・既存産業の発展基盤の強化、人材確保、事業承継などの諸課題に対処する必要がある。一方、新規企業の参入を促進することも必要。
- ・若い世代の就労・雇用確保や仕事と子育ての両立、女性や高齢者などが多様な働き方のできる環境づくりも求められている。

4. 地域住民の連携と人材育成(地域福祉、地域防災、地域自治のパワーアップ)

- ・人口減少時代を見据えた地域づくりが求められている。
- ・「地域共生社会」の実現に向けた「互助」の仕組みづくりを積極的に展開していく必要がある。あわせて、自主防災活動などの取組をさらに充実していくことが必要である。
- ・地域福祉、地域防災、地域自治などの活動を支える新たな担い手の発掘・育成を進めていくことが必要となっている。

5. 元気でいきいきとした暮らしづくり

- ・人生100年時代を見据え、誰もが安心して元気でいきいきと暮らしていける地域の仕組みが必要であり、生涯を通じた健康づくりを展開していくことが必要である。
- ・生活習慣病予防、介護予防などに取り組み、健康寿命の延伸を目指す。
- ・安心して暮らしていける社会保障制度の維持、ライフスタイルに合わせた様々な支援や環境づくりが求められている。
- ・生涯学習、スポーツ、文化活動、地域活動など様々な場面で、元気に町民が活躍できる環境づくりを進めていくことが求められている。

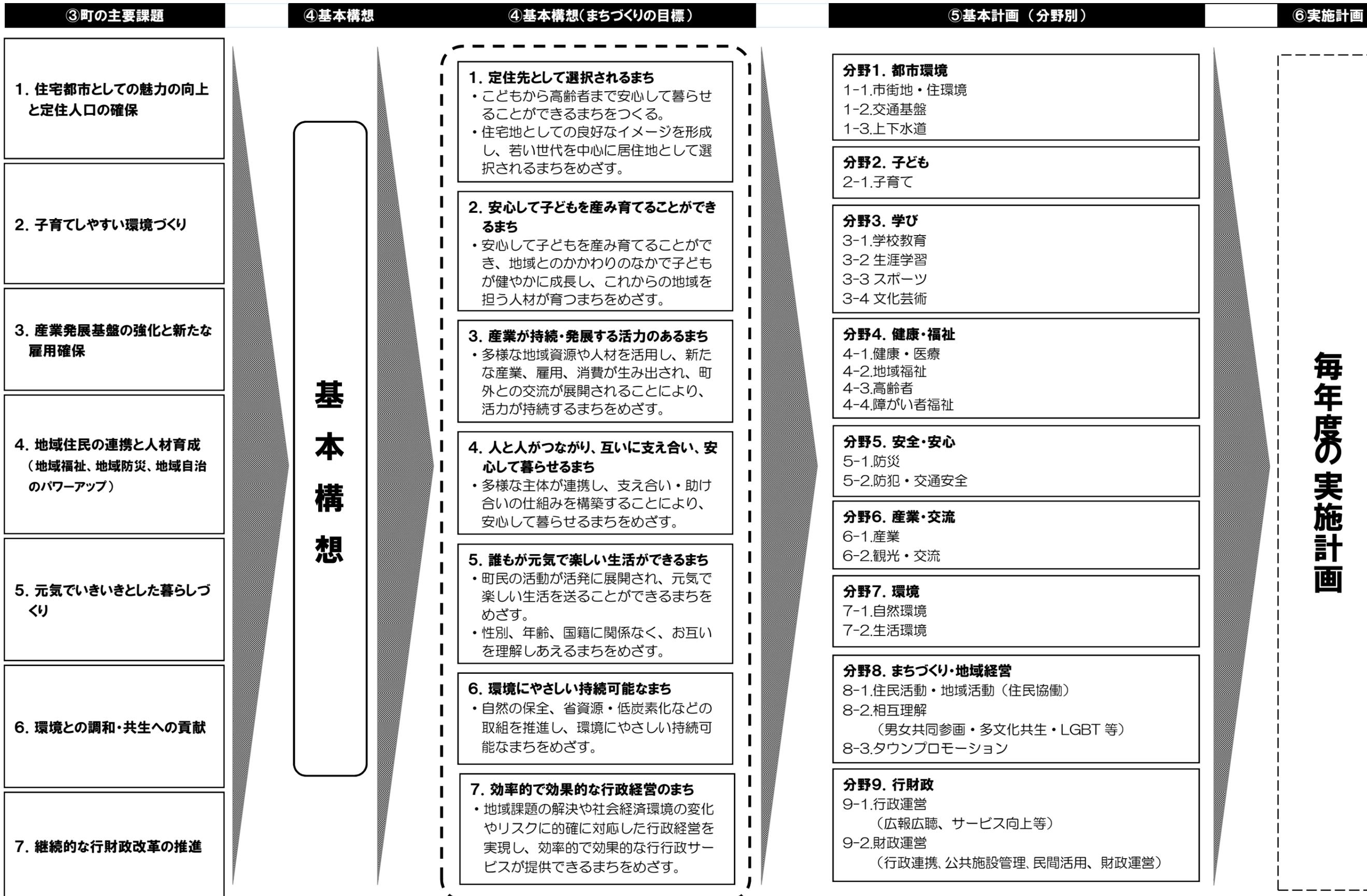
6. 環境との調和・共生への貢献

- ・自然環境の保全とともに、環境との調和・共生に向けた取組を着実に進展させていくことは重要な課題となっている。
- ・緑豊かで美しい自然環境の保全・再生に向けた取組、資源循環、適正な廃棄物処理、省エネルギー対策など環境に負荷をかけないための取組をさらに推進していくことが求められている。

7. 継続的な行財政改革の推進

- ・公共施設の老朽化に伴う施設の維持管理コストの増大は避けて通れない行政課題となっており、長期的な視野の下での対応が必要。
- ・サービス(ソフト)施策についても、合理的で効果的なサービス提供を展開していく必要がある。

2. 第6次武豊町総合計画 (まちの課題 → 基本構想 → 基本計画 → 実施計画)



3. 第6次武豊町総合計画（現行計画第5次計画 と 次期計画第6次計画との対比）

No	施策分野	項	主な業務内容	担当課(主)	関係課	第5次武豊町総合計画『めざすべきまちの姿』との関係
1	分野1 都市環境	1-1 市街地・住環境	市街地整備、住宅・宅地、公園・緑地、 景観	都市計画課		○6-3 快適で豊かな住環境が整っているまち ○3-1 集い・憩える魅力的な場所があるまち ○7-1 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち
2		1-2 交通基盤	道路、歩道、公共交通	土木課		○2-1 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち ○2-2 道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち
3		1-3 上下水道	上水道、下水道、農業集落排水	上下水道課		○6-3 快適で豊かな住環境が整っているまち
4	分野2 子ども	2-1 子育て	地域ぐるみで支える子育て環境 保育サービスの充実	子育て支援課		○4-1 安心して子どもを生み育てることができるまち ○4-2 働きながらでも子育てをしやすい環境が整っているまち
5	分野3 学び	3-1 学校教育	学校教育	学校教育課	学校給食センター	○4-3 子どもが楽しく学校生活を送っているまち
6		3-2 生涯学習	生涯学習、歴史文化	生涯学習課	中央公民館、 歴史民俗資料館、	○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
7		3-3 スポーツ	スポーツ	スポーツ課		○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
8		3-4 文化芸術	文化芸術	町民会館		○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
9	分野4 健康・福祉	4-1 健康・医療	健康づくり、地域医療、	健康課	保険医療課	○5-1 楽しく健康づくりができ、安心して医療が受けられるまち
10		4-2 地域福祉	地域福祉、生活支援（低所得者等）	福祉課		○5-3 みんながお互いを理解しやすい心を持っているまち
11		4-3 高齢者	高齢者福祉	福祉課		○5-2 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち
12		4-4 障がい者福祉	障害者（児）福祉	福祉課		○5-2 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち
13	分野5 安全・安心	5-1 防災	防災	防災交通課		○2-3 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち
14		5-2 防犯・交通安全	防犯、交通安全	防災交通課		○2-3 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち ○2-1 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち
15	分野6 産業・交流	6-1 産業	農業、商工業、雇用対策	産業課		○7-2 産業が活性化しているまち
16		6-2 観光・交流	観光、にぎわいづくり	産業課		○7-1 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち
17	分野7 環境	7-1 自然環境	自然環境	環境課		○6-1 みんなが自然環境を大切にしているまち
18		7-2 生活環境	ごみ処理、環境美化	環境課		○6-2 環境へ負荷をかけない生活環境になっているまち
19	分野8 まちづくり・ 地域経営	8-1 住民活動・地域活動 （住民協働）	協働のまちづくり、自治区活動	企画政策課	総務課	○1-1 住民がまちづくりに参加しやすいまち ○3-3 地域活動が活発に行われているまち
20		8-2 相互理解	男女共同参画、多文化共生、LGBT	企画政策課		○5-3 みんながお互いを理解しやすい心を持っているまち
21		8-3 タウンプロモーション	タウンプロモーション、タウンプライド	企画政策課		○7-3 住民が誇りをもって生活しているまち
22	分野9 行財政	9-1 行政運営	広報広聴、行政サービス、 効率的な行政運営、ICT 活用	秘書広報課	企画政策課	○1-2 情報が相互に発信されているまち ○1-3 住民に満足される行政サービスが行われているまち
23		9-2 財政運営	行政連携、公共施設管理、民間活用、 効率的な財政運営	総務課	企画政策課	○1-4 健全に行財政が運営されているまち

第6次武豊町総合計画策定に係る 意識調査〔アンケート〕の結果【概要】

第6次総合計画の策定に向け必要となるデータを得るために、次の5種類の調査を実施しました。

- ア ①町民意識調査・②中学生意識調査・③若者・子育て世代アンケート調査
- イ ④企業・事業所アンケート調査
- ウ ⑤来訪者Webアンケート調査

本資料は、意識調査〔アンケート〕の結果の要点を取りまとめたものです。

調査の概要

それぞれの調査の対象、方法、期間、回収状況は以下の通りです。

① 町民意識調査

調査対象	・武豊町在住の15歳以上の町民から無作為抽出した3,000人
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 3,000 票 有効回収数 1,318 票 有効回収率 43.9%

② 中学生意識調査

調査対象	・武豊町の中学校に在学する中学生（中学1・2年生 897名）
調査方法	・学校を通じた配布・回収
調査期間	・平成30年11月19日から配布し、12月10日までに回収
回収状況	・配布数 897 票 有効回収数 862 票 有効回収率 96.1%

③ 若者・子育て世代アンケート調査

調査対象	・町内の18歳以上40歳未満の町民から無作為抽出した1,000人
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 1,000 票 有効回収数 323 票 有効回収率 32.3%

④ 企業・事業所アンケート調査

調査対象	・武豊町内に立地する企業・事業所から無作為に抽出した500事業所
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 500 票 有効回収数 186 票 有効回収率 37.2%

⑤ 来訪者 Web アンケート調査

調査対象	・dポイントクラブ会員を対象とし、その中で半年の間に武豊町に来訪履歴のある愛知県在住者
調査方法	・Web上でのアンケート
調査期間	・平成30年12月21日より調査開始し、平成31年1月4日に終了（調査を開始し、目標回収数（1,000）が達成した時点で終了した）
回収状況	・回収数 1,020 票

ア 調査の結果【①・②・③】

(1) 武豊町の暮らしやすさ

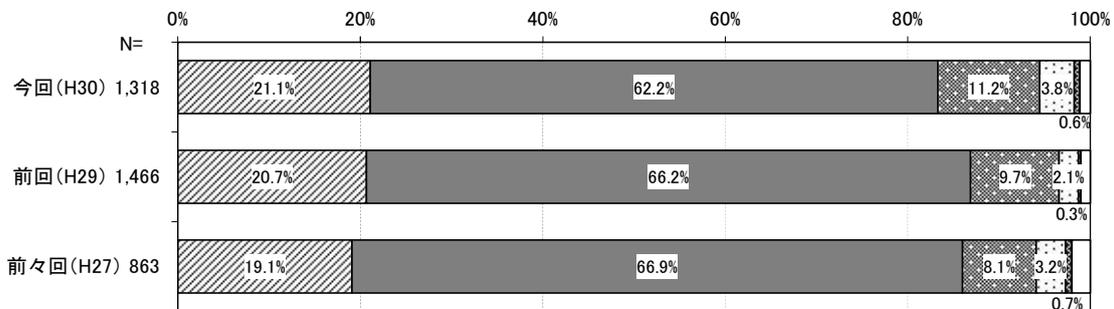
・『図表-1 町の住みごころ』では町民意識調査、中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査のいずれの調査でも、8割以上の回答者が『住みやすい(「大変住みやすい」+「まあまあ住みやすい」)』と評価しています。中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査では前回(平成29)調査、前々回(平成27)調査と比較すると若干の低下傾向がみられます。

『図表-1 町の住みごころ(過去調査との比較)』

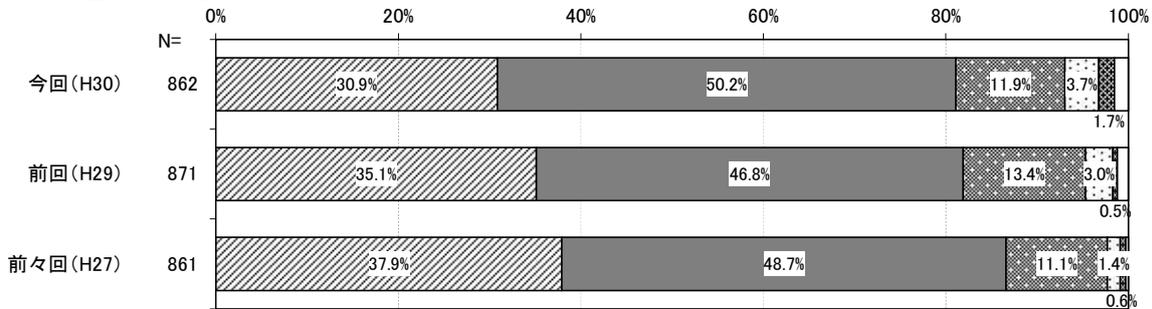
【町民意識調査】

大変住みやすい
 まあまあ住みやすい
 どちらともいえない

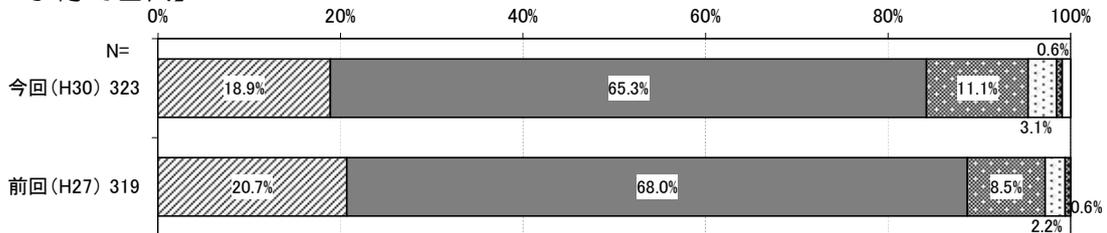
 どちらかというに住みにくい
 大変住みにくい
 無回答



【中学生意識調査】



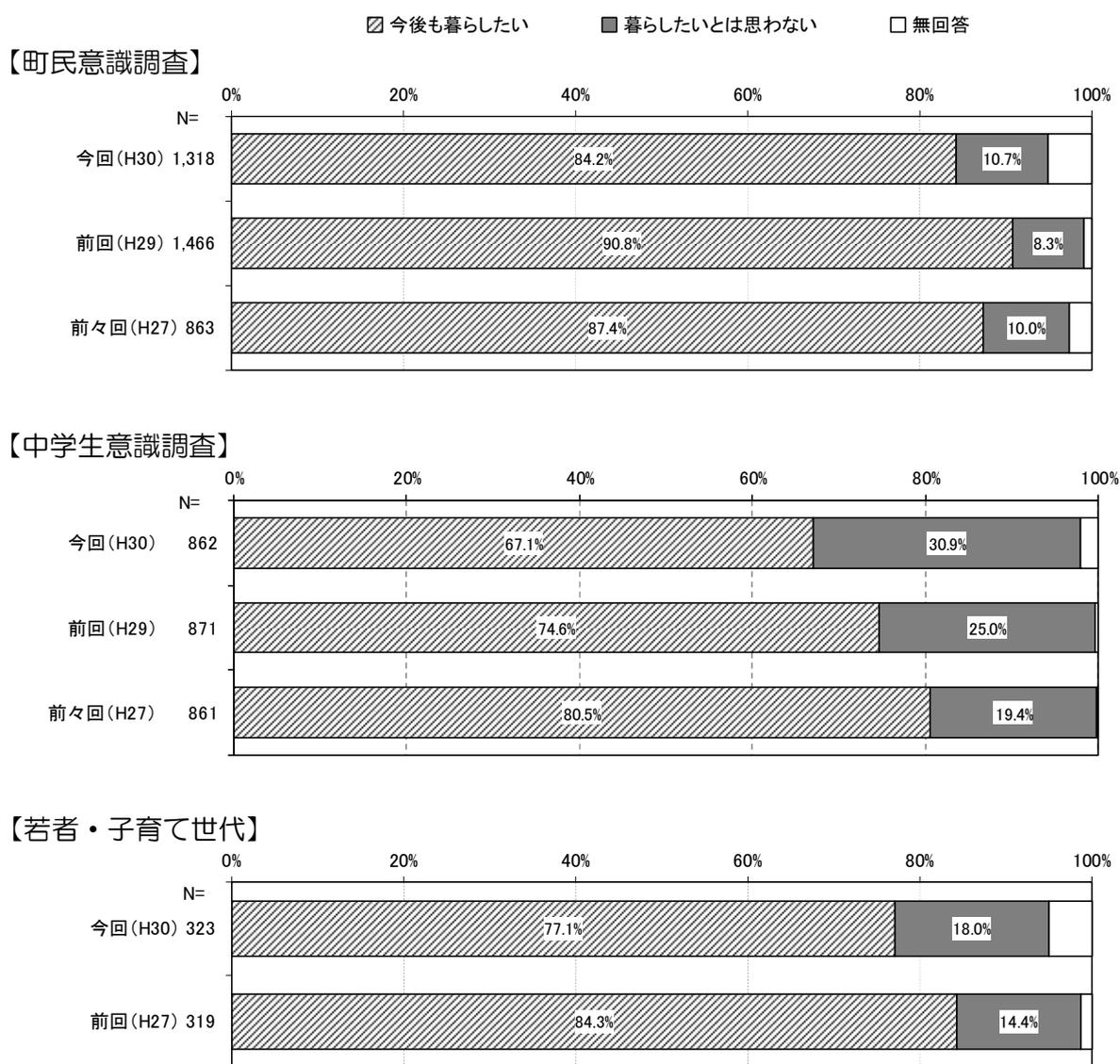
【若者・子育て世代】



※若者・子育て世代アンケート調査は平成29年は未実施。

- 『図表-2 今後の居住意向』では、「今後も暮らしたい」の割合は町民意識調査では8割を超える高い値を堅持していますが、中生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査で値は低下しています。中学生では「今後も暮らしたい」は前々回(平成27年)から調査ごとに6~7ポイント低下しています。また、若者・子育て世代でも約7ポイント低下しています。

『図表-2 今後の居住意向(前回調査比較)』



※若者・子育て世代アンケート調査は平成29年は未実施。

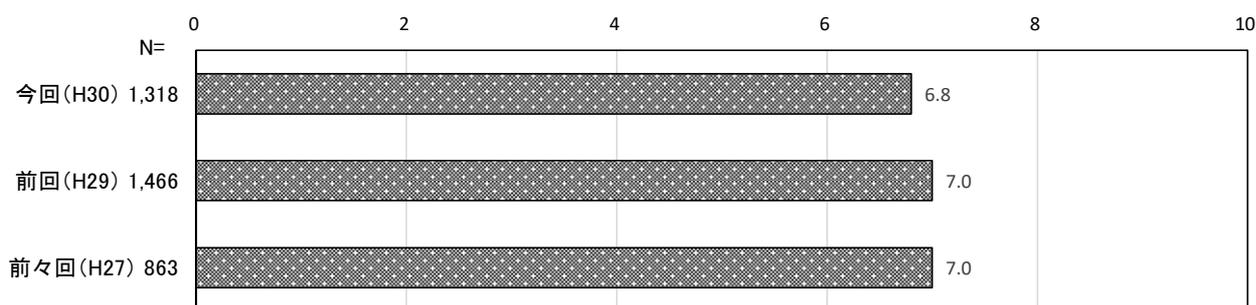
(2) 幸福度

- ・『図表-3 現在の幸福度』では幸福度の平均点※は、町民意識調査及び、中学生意識調査では経年的にみると6～7点の間を推移しています。
- ・『図表-4 5年前と比べた幸福感の変化』では町民意識調査では、「より幸せになった」と感じている方の割合が減少しており、「変わらない」とする方が増えています。
「より幸せになった」と「変わらない」を合計すると約9割を超える方が幸福感を維持しています。

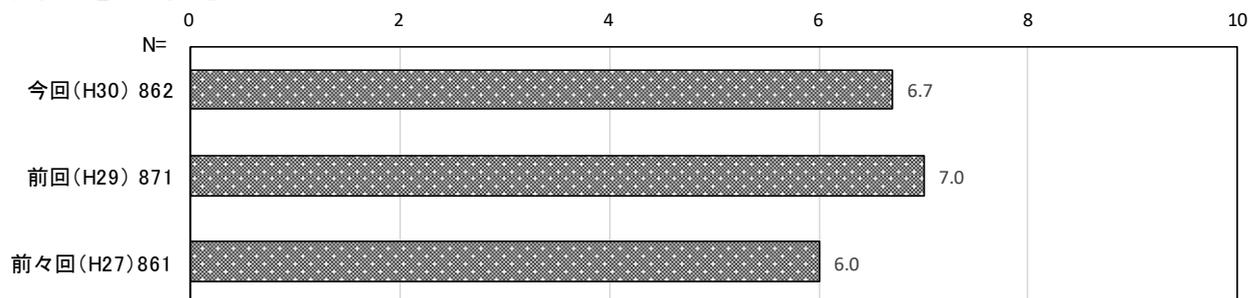
※幸福度の平均点：回答者が幸福度について10段階評価した点数を平均したものです

『図表-3 現在の幸福度（前回調査比較）』

【町民意識調査】

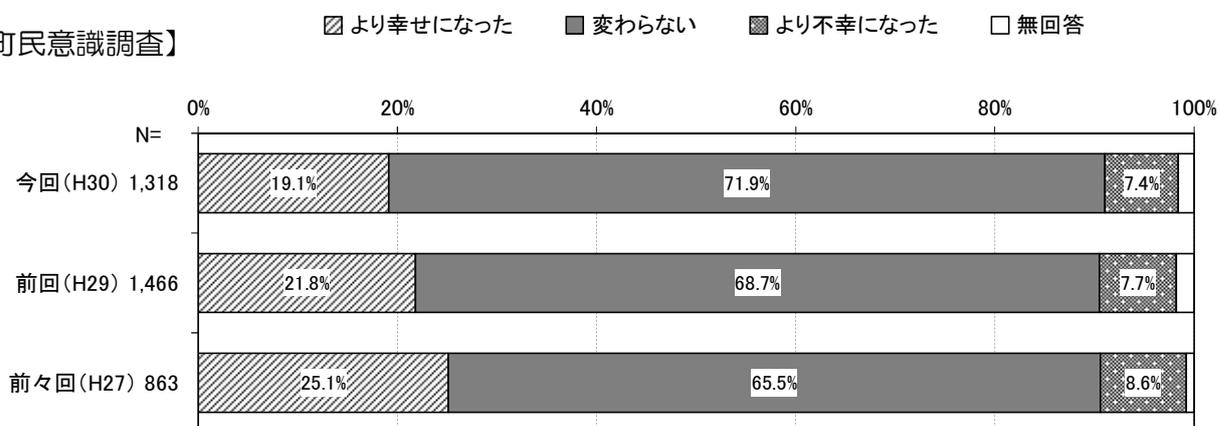


【中学生意識調査】



『図表-4 5年前と比べた幸福感の変化（前回調査比較）』

【町民意識調査】

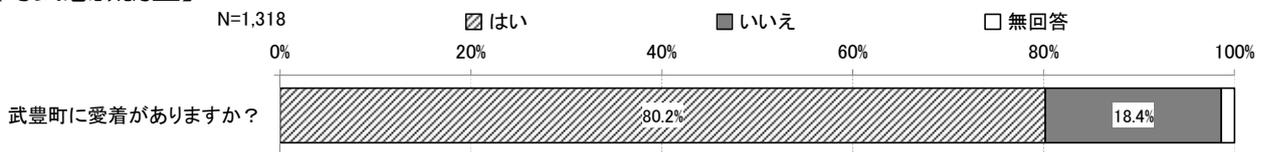


(3) 武豊町への愛着、町の魅力

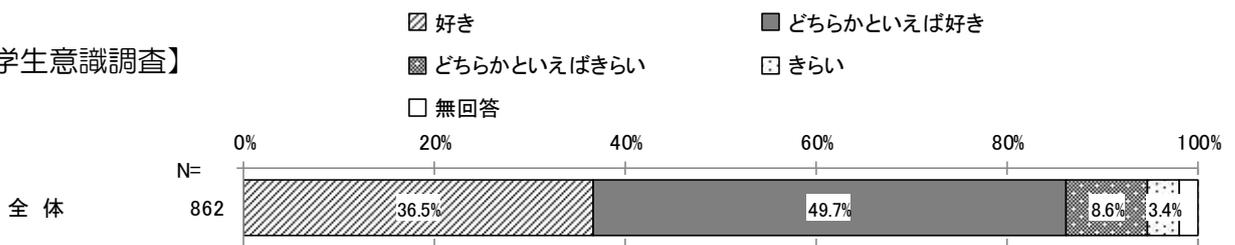
- 『図表-5 武豊町への愛着』では町民意識調査で、**8割以上が「武豊町に愛着がある」と回答**しています。また、**中学生意識調査でも、8割以上が『武豊町のことが好き』と回答**しています。
- 『図表-6 武豊町への愛着や親しみ』では若者・子育て世代アンケート調査で、約7割が武豊町への「愛着や親しみを感じている」と回答しており、**20～24歳では8割以上が『感じている』と回答**しています。このように町民の多くは町への愛着を持っていることがわかります。
- 『図表-7 町の魅力、自慢できること』では武豊町の魅力、自慢できると思うことについては、「**山車・祭りなどの伝統文化**」、「**良好な居住環境**」の2つが3割以上の回答を得ています。「山車・祭りなどの伝統文化」はすべての年代において高い回答となっています。

『図表-5 武豊町への愛着』

【町民意識調査】

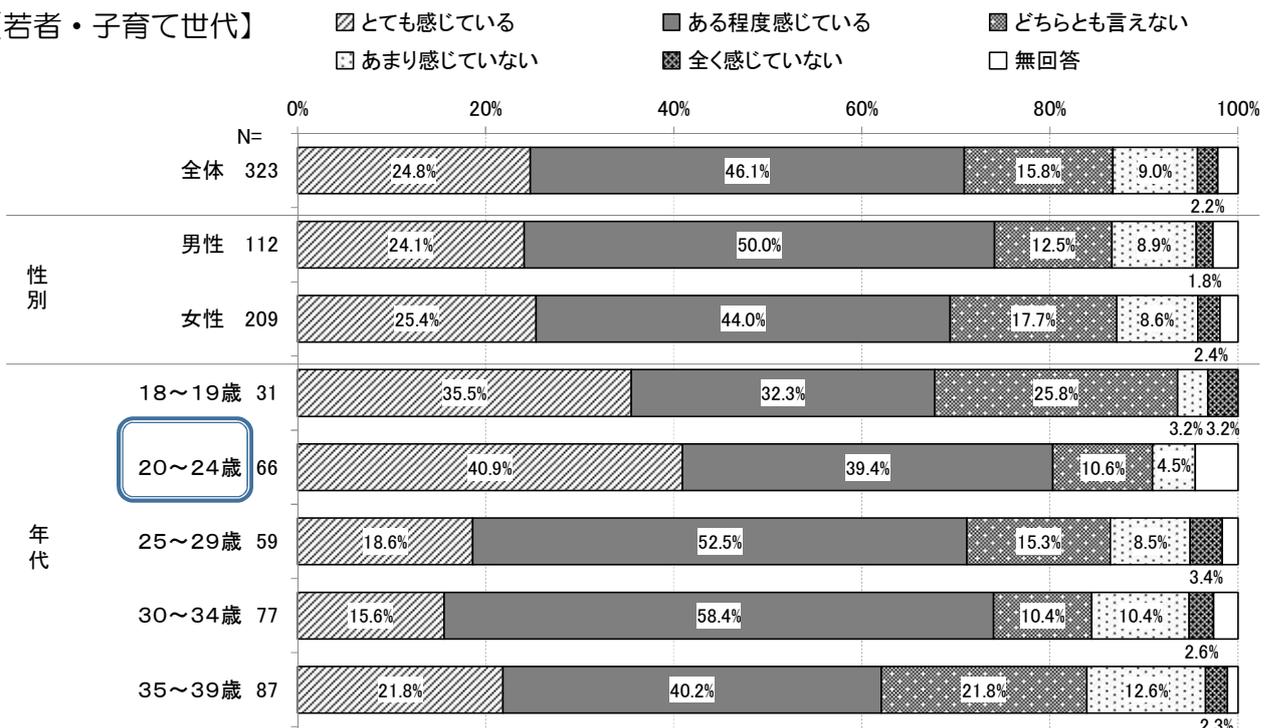


【中学生意識調査】



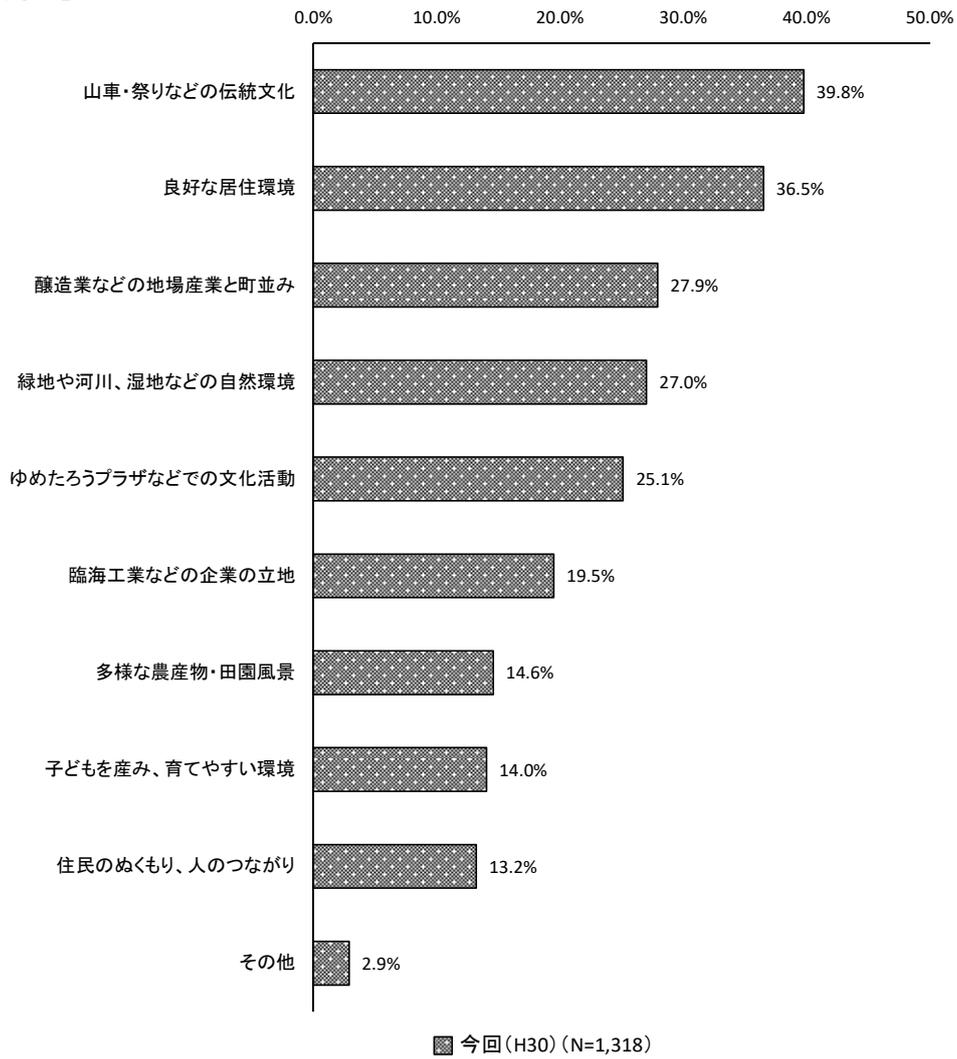
『図表-6 武豊町への愛着や親しみ』

【若者・子育て世代】



『図表-7 町の魅力、自慢できること』（3つまで回答可）

【町民意識調査】



(4) まちづくりに対する評価

・町民意識調査では、第5次総合計画で取り組みを進めている22項目のめざすべきまちの姿について、満足度と重要度を評価しました。その結果、『重要度指数』が高いにも関わらず『満足度指数』が低い「重点改善分野」には次の4施策が該当する結果となりました。

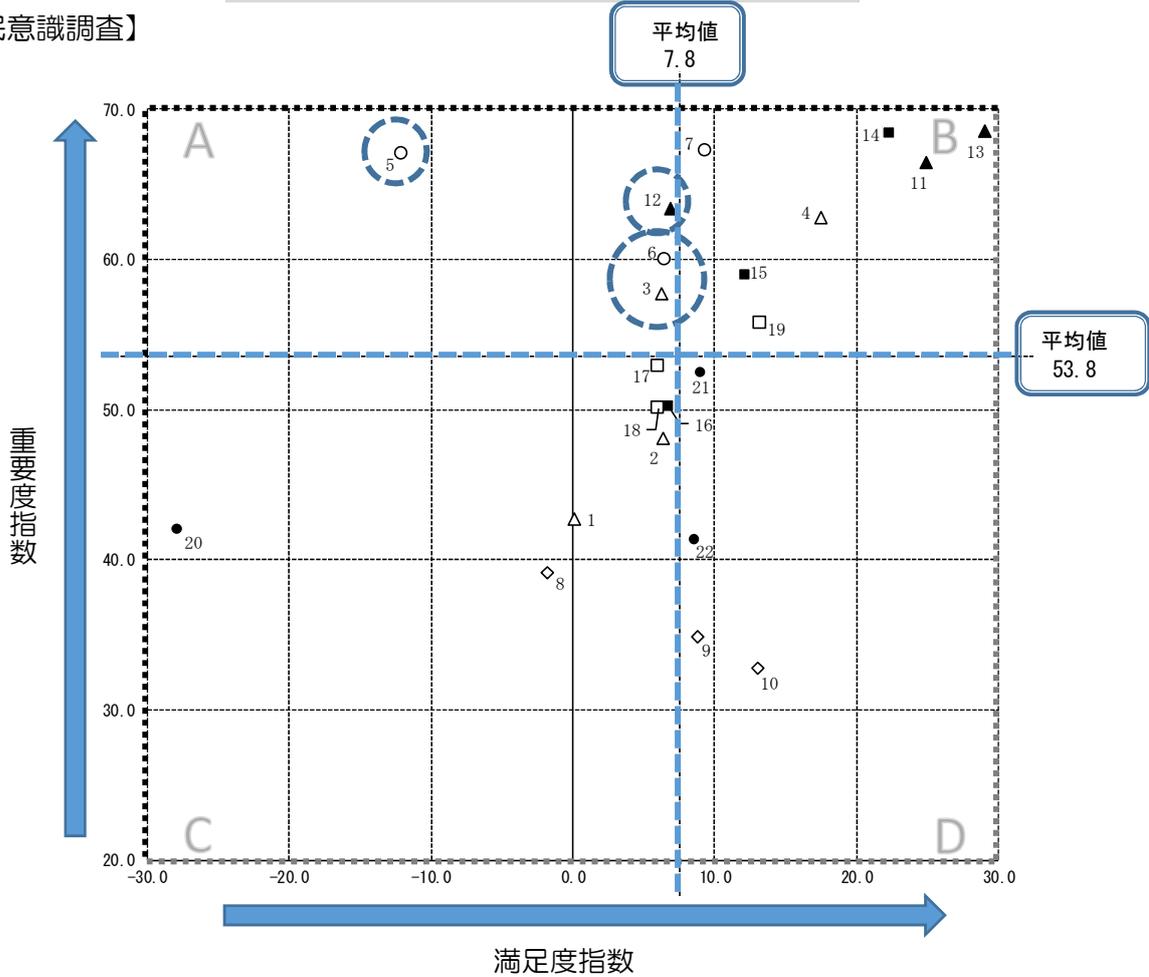
- ・徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち（基本目標2）
- ・働きながらも子育てをしやすい環境が整っているまち（基本目標4）
- ・道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち（基本目標2）
- ・住民に満足される行政サービスが行われているまち（基本目標1）

『図表-8 満足度指数と重要度指数からみた施策評価の考え方』

高い ↑ 重要度指数 ↓ 低い	A 重点改善分野 町民が重要と感じている項目でありながら満足度が低い。重点的に課題解決に取り組む必要がある分野。	B 継続増進分野 町民が重要と感じており、満足度も高い。現在の施策水準を維持または増進していく必要がある分野。
	C 改善分野 町民は重要と感じていない項目で満足度も低い。事業の必要性の検証や内容の見直し等の改善が必要となる分野。	D 維持分野 町民は重要と感じていない項目であるが満足度は高い。事業の必要性を検証し、満足度を維持していく分野。
	低い ← 満足度指数 → 高い	

『図表-9 満足度指数と重要度指数 散布図』

【町民意識調査】



基本目標	表示	N O	施策項目	満足度指数	重要度指数
基本目標1	△	1	住民がまちづくりに参画しやすい	0.1	42.7
	△	2	情報が相互に発信されている	6.4	48.1
	△	3	住民に満足される行政サービスが行われている	6.3	57.7
	△	4	健全に行財政が運営されている	17.4	62.8
基本目標2	○	5	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	-12.1	67.1
	○	6	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	6.5	60.0
	○	7	災害への備えや日常生活の安全性が確保されている	9.3	67.3
基本目標3	◇	8	集い・憩える魅力的な場所がある	-1.7	39.1
	◇	9	誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できる	8.8	34.8
	◇	10	地域活動が活発に行われている	13.1	32.8
基本目標4	▲	11	安心して子どもを生み育てることができる	24.9	66.5
	▲	12	働きながらも子育てをしやすい環境が整っている	6.9	63.4
	▲	13	子どもが楽しく学校生活を送っている	29.1	68.6
基本目標5	■	14	楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる	22.4	68.4
	■	15	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	12.2	58.9
	■	16	みんながお互いを理解しやすい心を持っている	6.8	50.2
基本目標6	□	17	みんなが自然環境を大切にしている	6.0	52.9
	□	18	環境へ負荷をかけない生活環境になっている	6.0	50.0
	□	19	快適で豊かな住環境が整っている	13.2	55.8
基本目標7	●	20	中心市街地がにぎやかに活気づいている	-27.9	42.0
	●	21	産業が活性化している	9.0	52.5
	●	22	住民が誇りを持って生活している	8.6	41.3
平均値				7.8	53.8

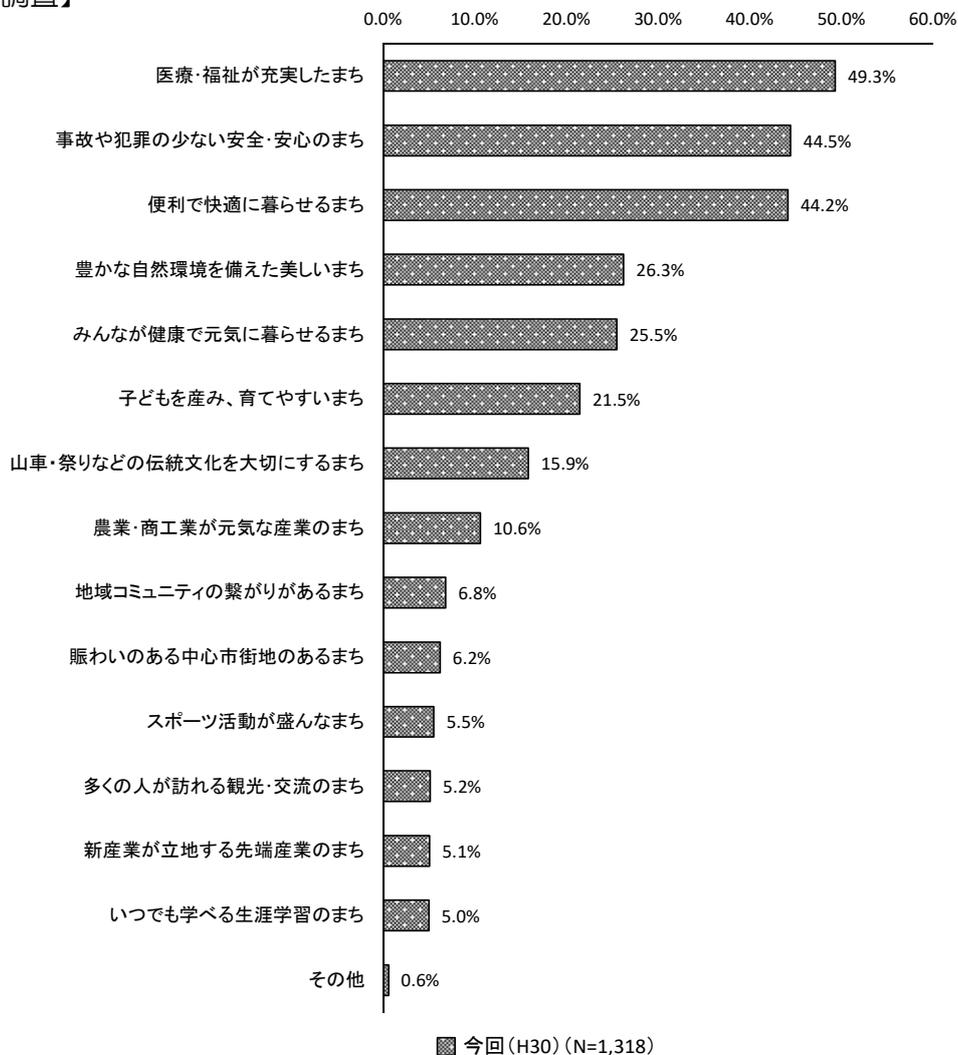
※「基本目標1～7」は、第5次武豊町総合計画の「まちづくりの基本目標」に相当。

(5) 今後のまちづくり

- 『図表-10 将来の町のイメージ』では、町民意識調査で「医療・福祉が充実したまち」、「事故や犯罪の少ない安全・安心のまち」、「便利で快適に暮らせるまち」の3つが4割を超える高い回答を得ています。
- 『図表-11 人口減少に対応するための取組（重要となる取組）』では、町民意識調査で「若い世代の就労、正社員化を支援し、若者の定着を図る」、「子育てのための環境整備を進め、子育て世代の定着を図る」、「高齢者が健康で元気に暮らすまちづくりを進め、医療・福祉の経費負担を軽減する」の3つが概ね4割前後の回答を得ています。
- 『図表-12 子育てしやすい町と誇れるようにする取組』では、若者・子育て世代アンケートで今後力を入れるべきこととしては、「子育てしながら働ける職場環境」、「保育サービス」、「医療体制」、「公園整備」などが求められています。

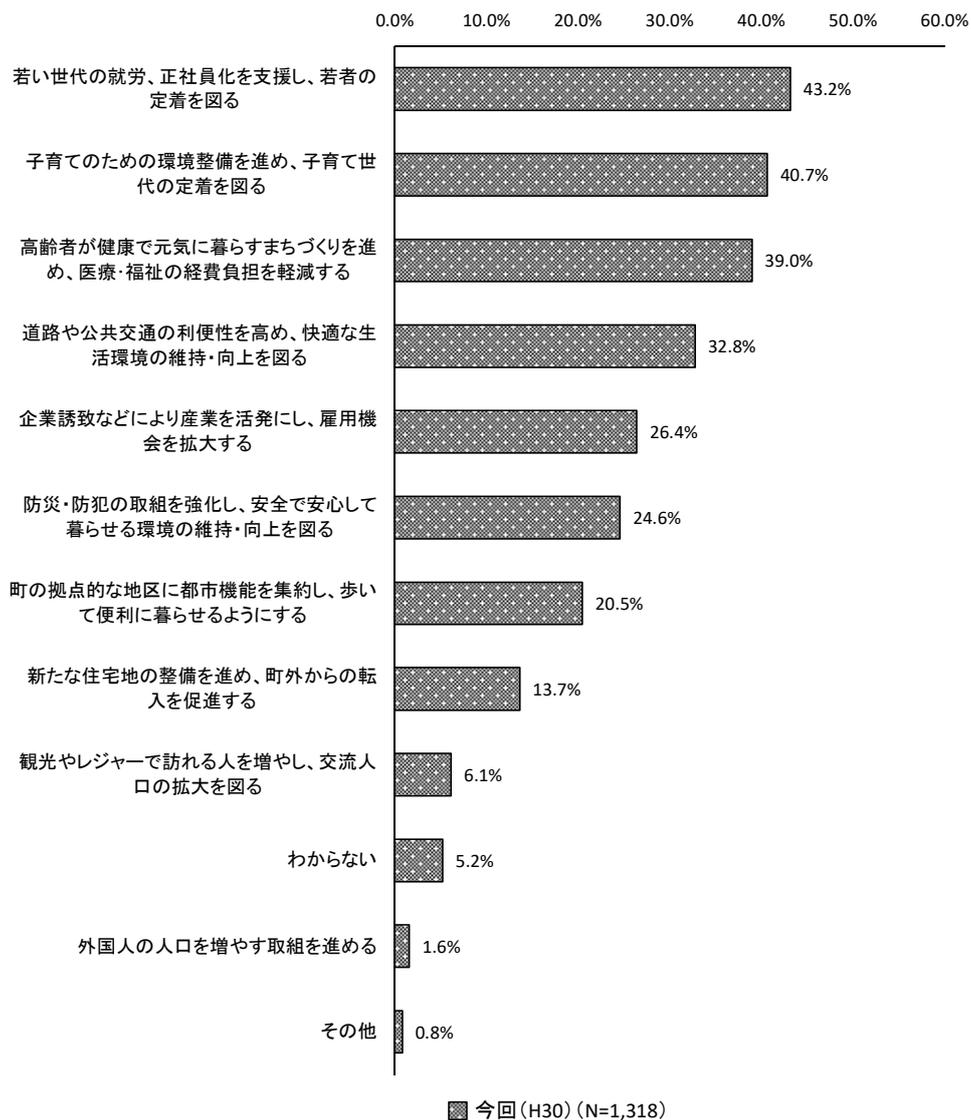
『図表-10 将来の町のイメージ』（3つまで回答可）

【町民意識調査】



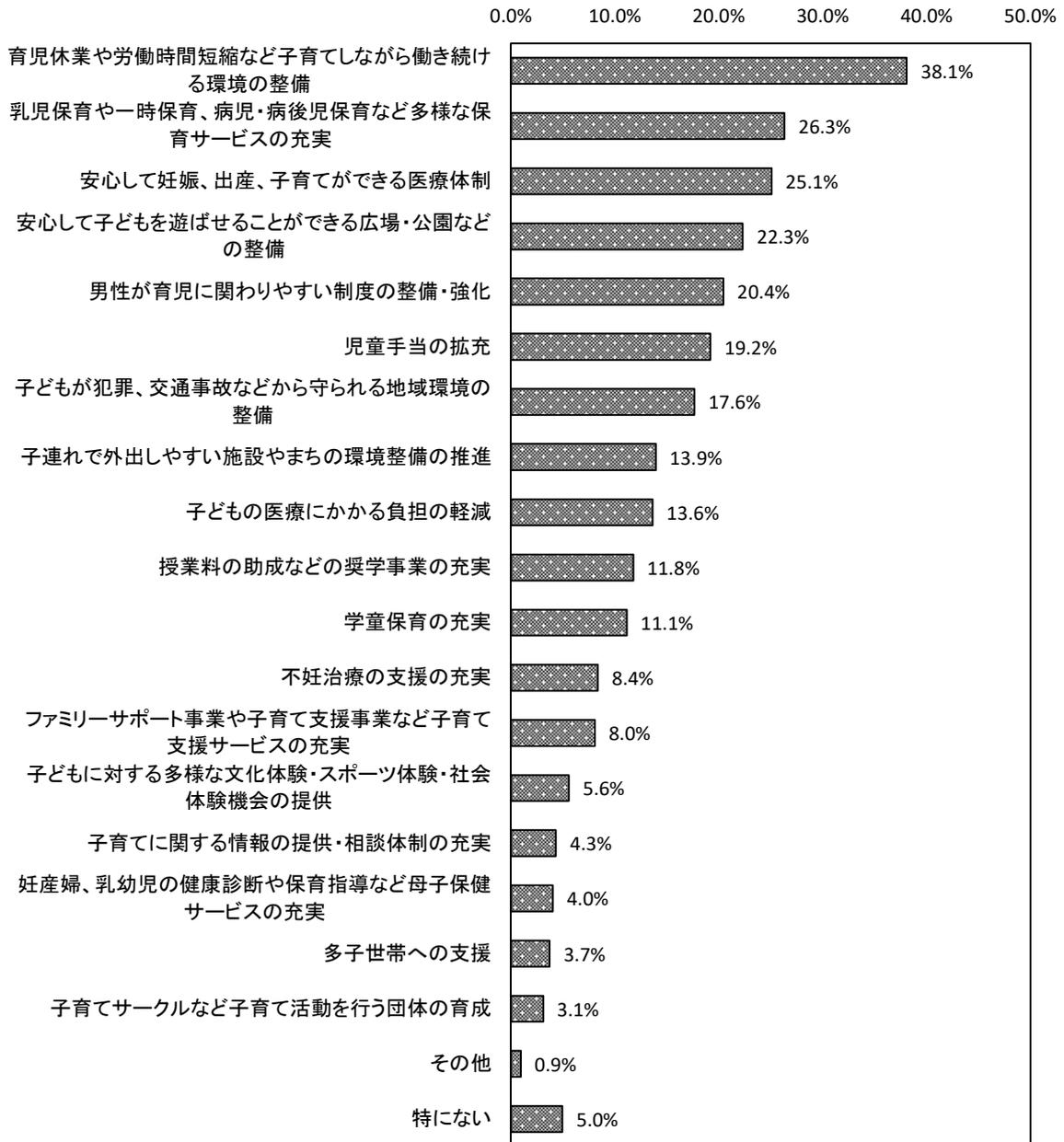
『図表-1 1 人口減少に対応するための取組』（3つまで回答可）

【町民意識調査】



『図表-12 子育てしやすい町と誇れるようにする取組』（3つまで回答可）

【若者・子育て世代】



■ 今回(H30)(N=323)

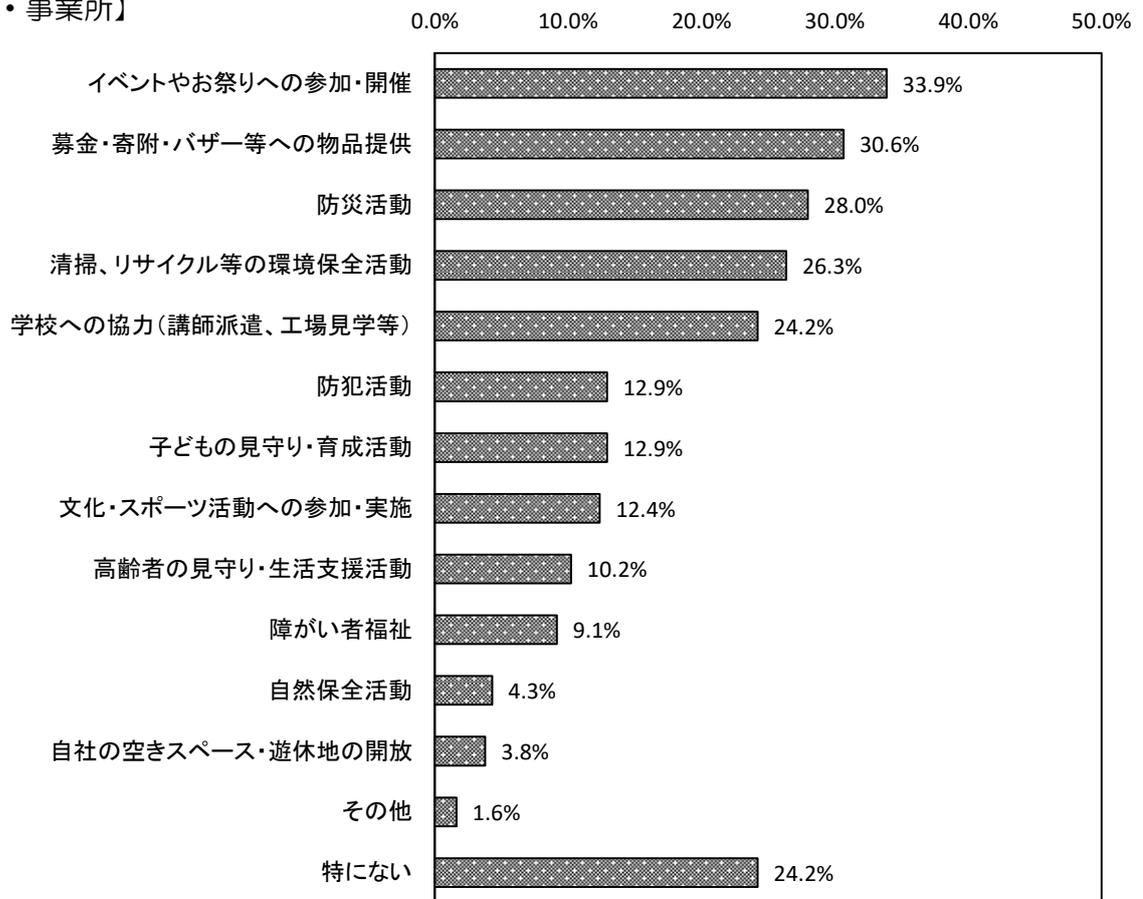
イ 調査の結果【④】

(1) 企業・事業所の動向、今後の展望

- ・『図表-13 協働のまちづくりとして取り組んでいること』では、協働のまちづくりとして会社や従業員で何らかのことに取り組んでいる事業所が大半で、「特にない」と回答する事業所は少数です。

『図表-13 協働のまちづくりとして取り組んでいること』（あてはまるすべてに回答）

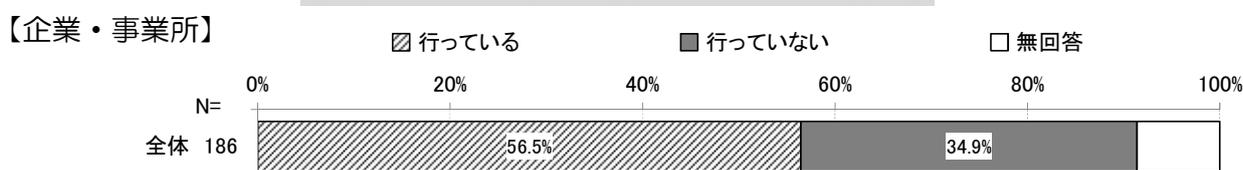
【企業・事業所】



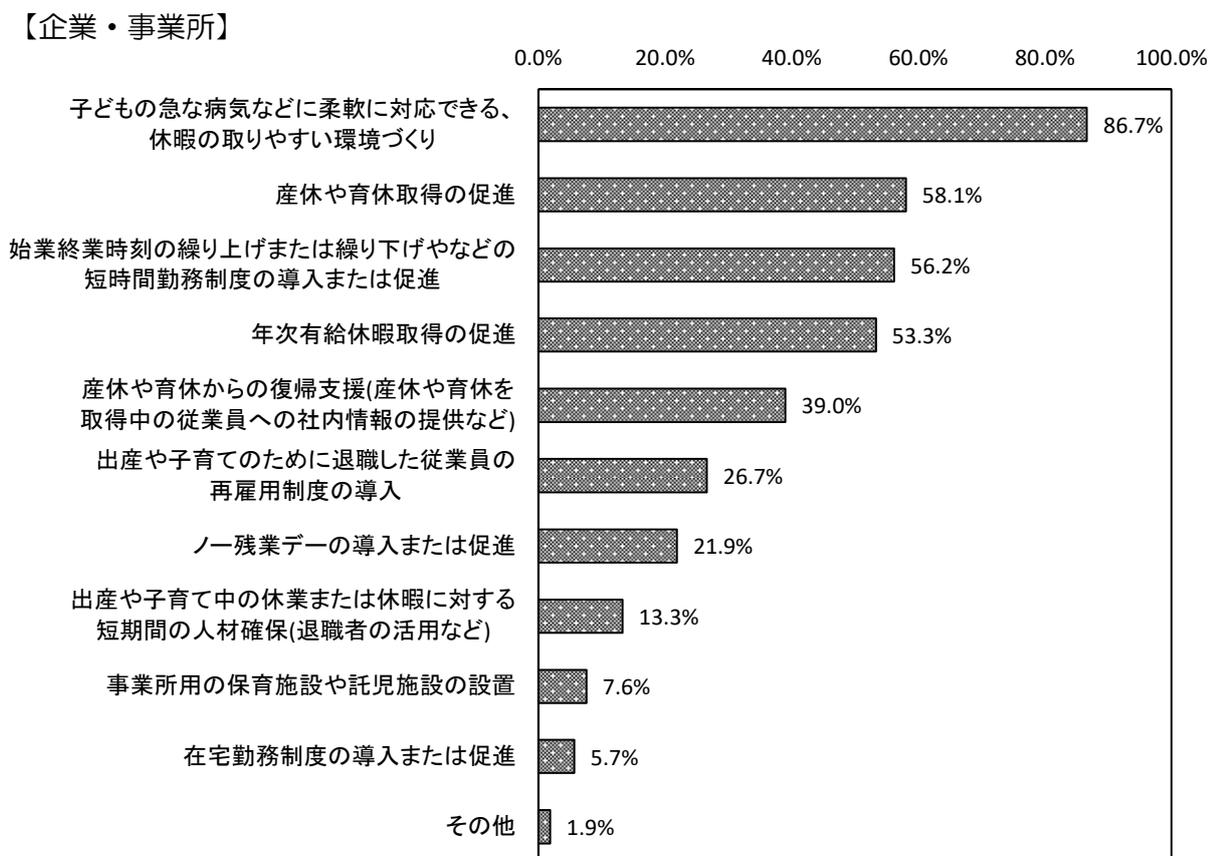
■ 今回(H30)(N=186)

- 『図表-14 仕事と子育ての両立支援の有無』では、**事業所の約6割では、仕事と子育ての両立に向けて支援を行っている**と回答しており、休暇が取りやすい環境、短時間勤務制度の導入などの支援を実際に行っています。(『図表-15 仕事と子育ての両立のために行っている支援内容』)
- 今後も継続的に取り組んでいくとする事業所が多くなっています。
- しかし、『図表-16 子育てをする人にとっての働きやすさ』(若者・子育て世代へのアンケート)では、職場が子育てする人にとって働きやすいかについては、約4割(39.8%)が働きやすいと『思わない』と回答しており、「日常的に労働時間が長い」、「有給休暇が取りづらい雰囲気がある」などをその理由としてあげています。(『図表-17 働きやすくない原因』)

『図表-14 仕事と子育ての両立支援の有無』



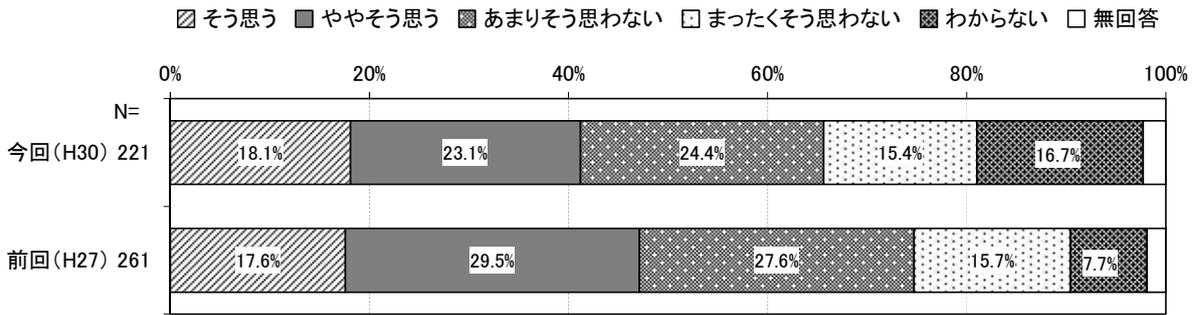
『図表-15 仕事と子育ての両立のために行っている支援内容』(あてはまるすべてに回答)



(N=105)

『図表-16 子育てをする人にとっての働きやすさ（前回調査比較）』

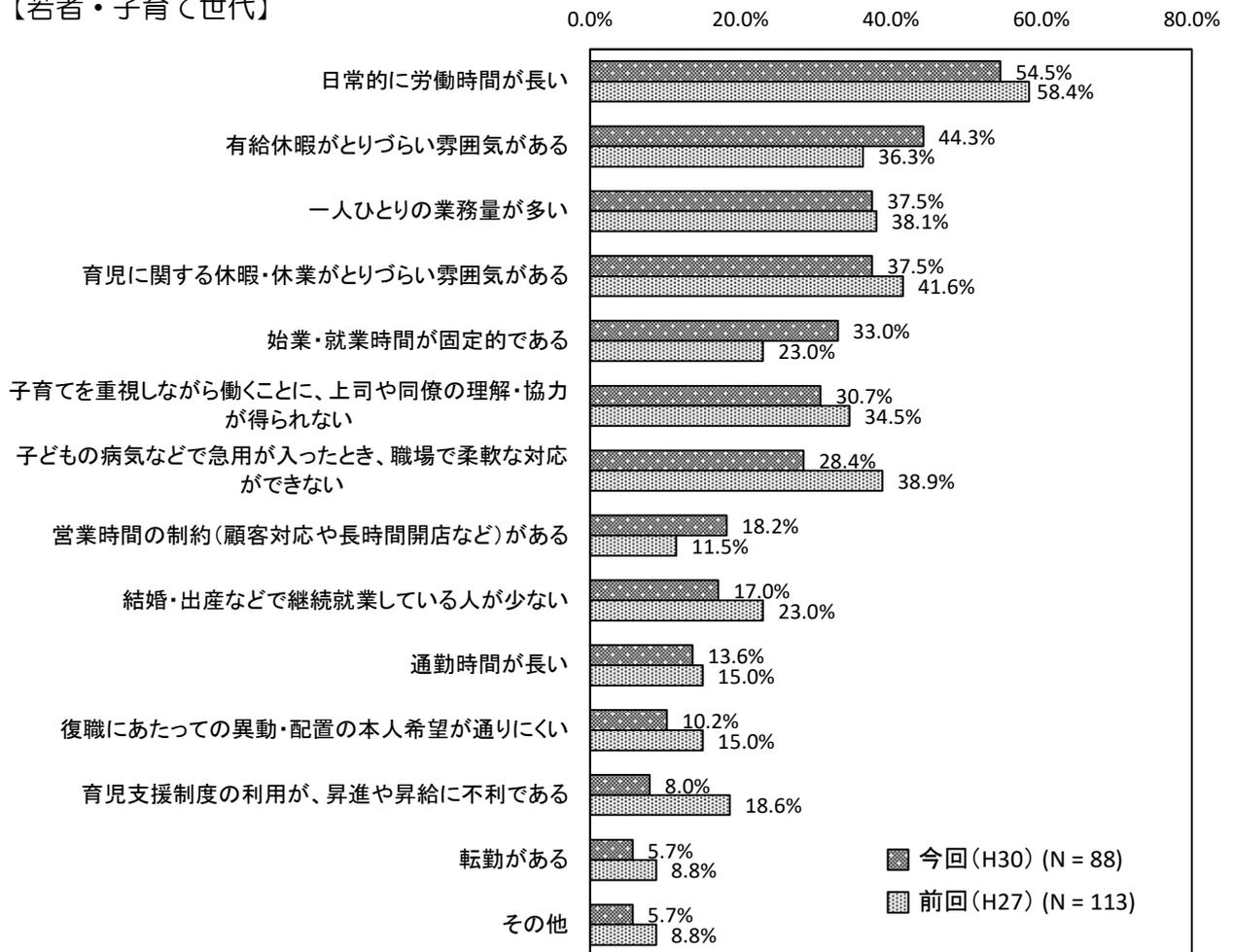
【若者・子育て世代】



※若者・子育て世代アンケート調査は平成29年は未実施。

『図表-17 働きやすくない原因（前回調査比較）』（あてはまるすべてに回答）

【若者・子育て世代】

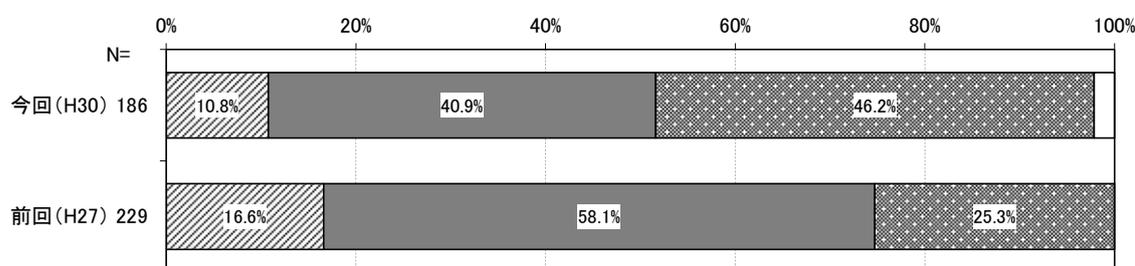


- 『図表-18 人材確保の見通し』の人材確保については、「十分な確保ができていない」が半数近くを占めており、従業員の確保を考えている事業所が増えています。
- 従業員増を考える事業所では、正規労働者を確保したいと考える事業所が増えています。（『図表-19 増加したい人材の勤務形態』）
- 『図表-20 大きな影響を受けると思われる要因』では、今後の業績の展望を考えるうえで大きな影響を受けると思われる要因としては、「人件費コスト」が最も多くなっており、また、立地場所に対する評価としては、労働力を確保することが難しい場所だと評価されています。（『図表-21 事業所の立地場所としての評価』）
- 今後のビジネス展開を行うために必要なこととしては、「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」が強く求められています。（『図表-22 今後のビジネス展開を行うために必要なこと』）

『図表-18 人材確保の見通し（前回調査比較）』

【企業・事業所】

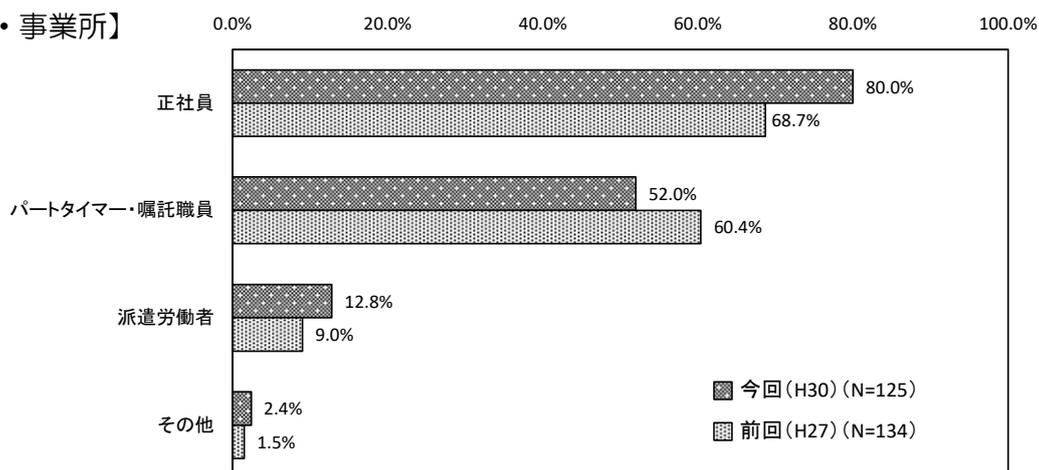
十分確保できている
 おおむね確保できている
 十分な確保ができていない
 無回答



※企業・事業所アンケート調査は平成29年は未実施。

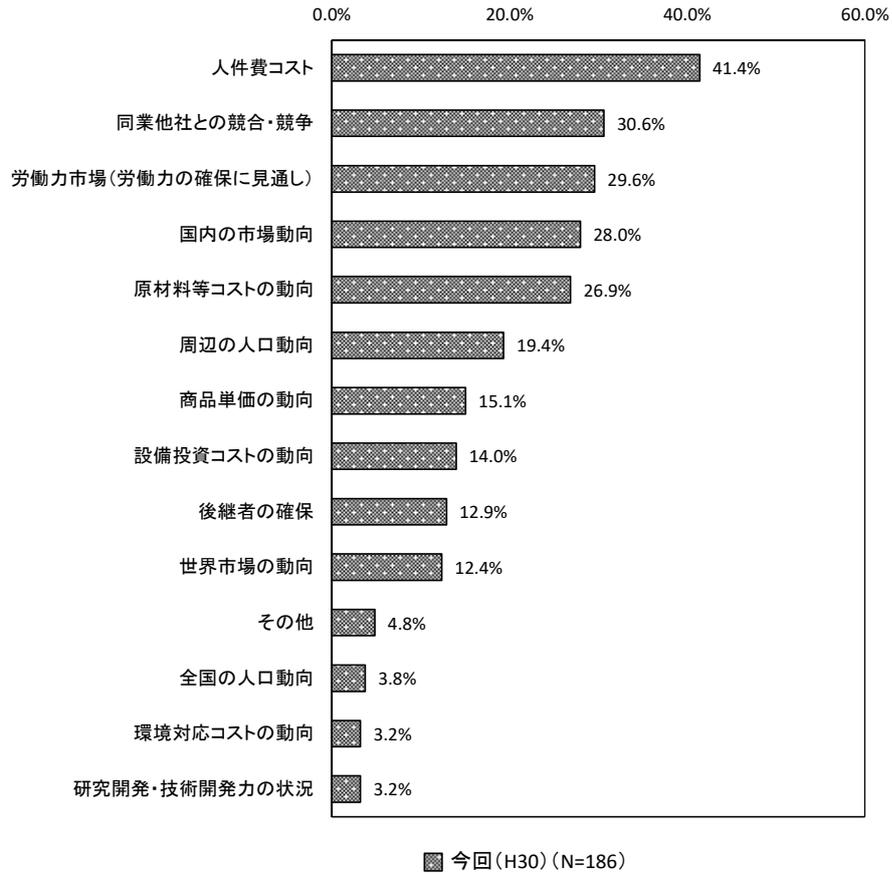
『図表-19 増加したい人材の勤務形態（前回調査比較）』

【企業・事業所】



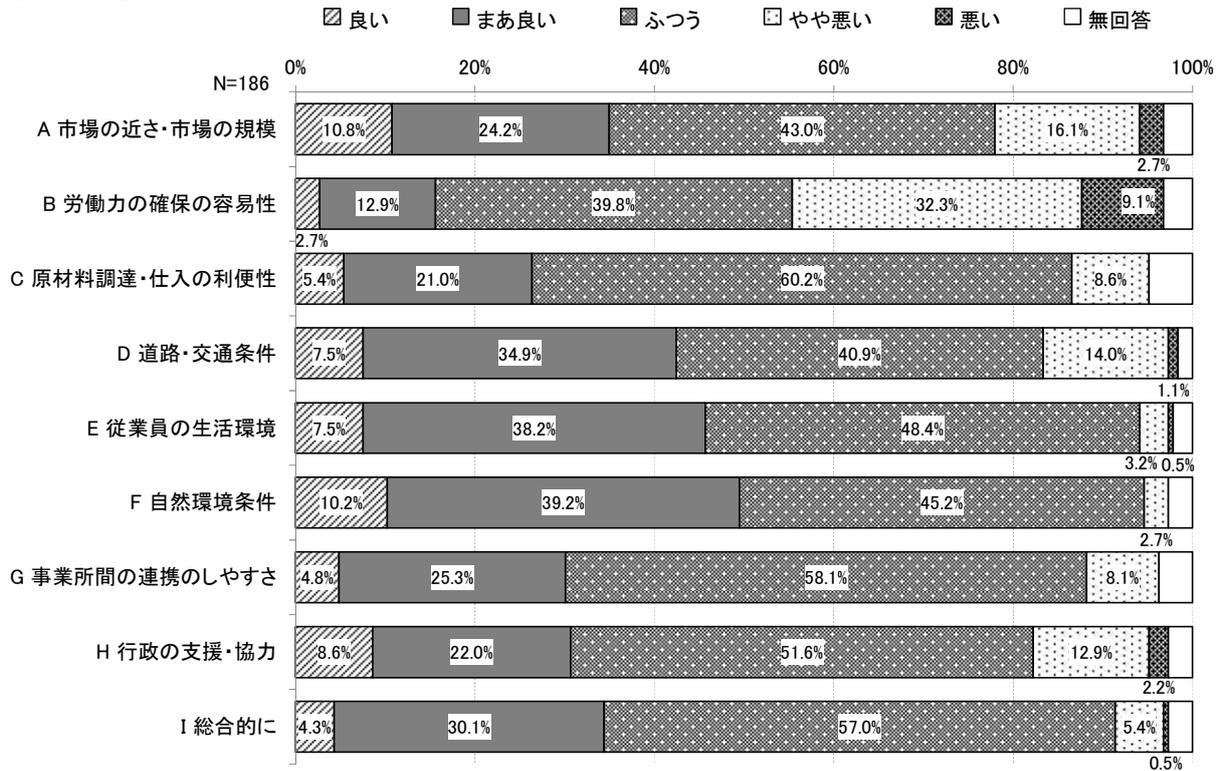
『図表-20 大きな影響を受けるとされる要因』（3つまで回答可）

【企業・事業所】



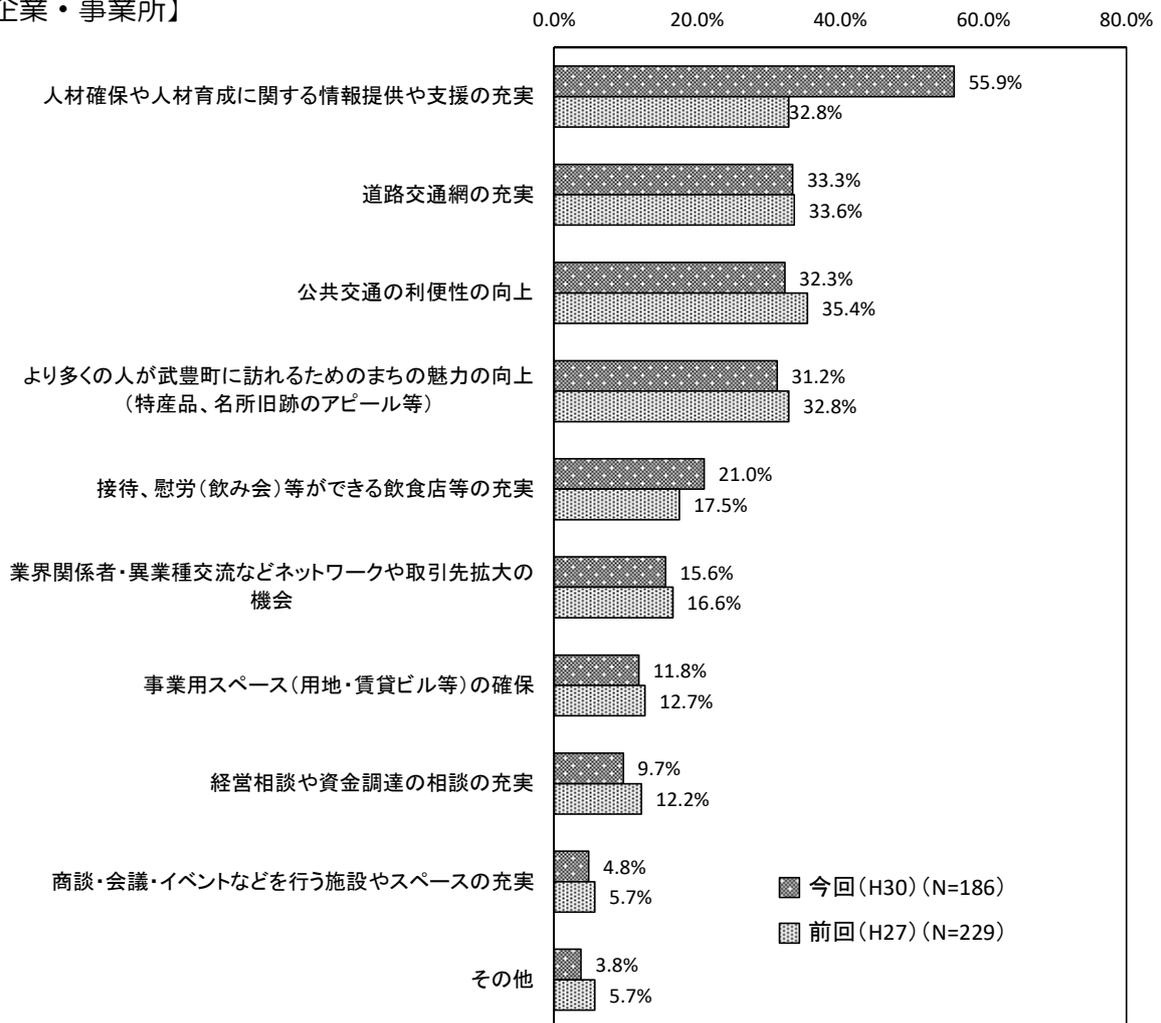
『図表-21 事業所の立地場所としての評価』

【企業・事業所】



『図表-22 今後のビジネス展開を行うために必要なこと（前回調査比較）』（あてはまるすべてに回答）

【企業・事業所】

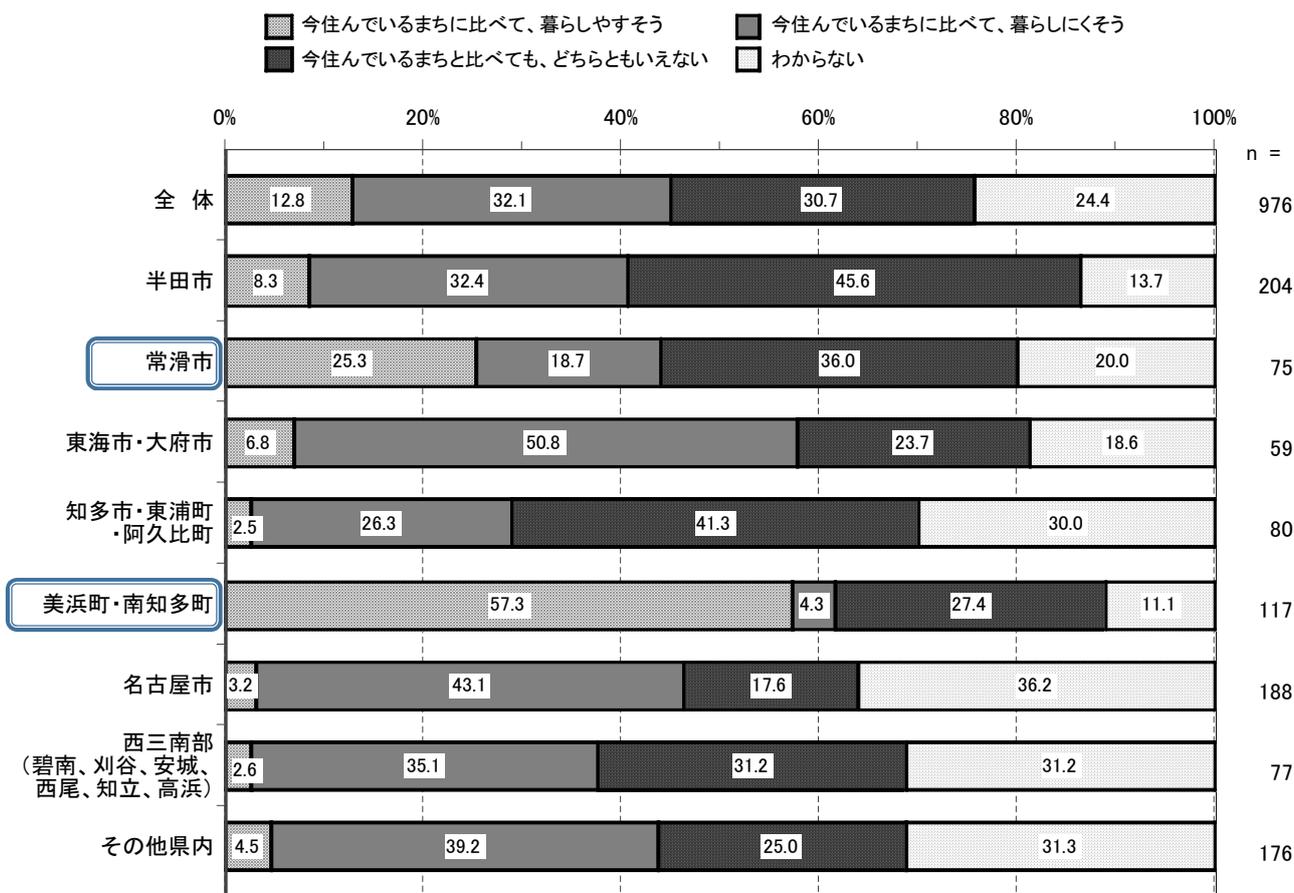


ウ 調査の結果【⑤】

- 『図表-23 居住地別武豊町の暮らしやすさ』では、他市町からみた武豊町の暮らしやすさについては、「どちらともいえない」や「わからない」が半数以上を占めるものの、「暮らしやすそう」より「暮らしにくそう」の方が多くなっています。常滑市、美浜町、南知多町では「今、住んでいるまちより暮らしやすそう」が多くなっています。

『図表-23 居住地別武豊町の暮らしやすさ』

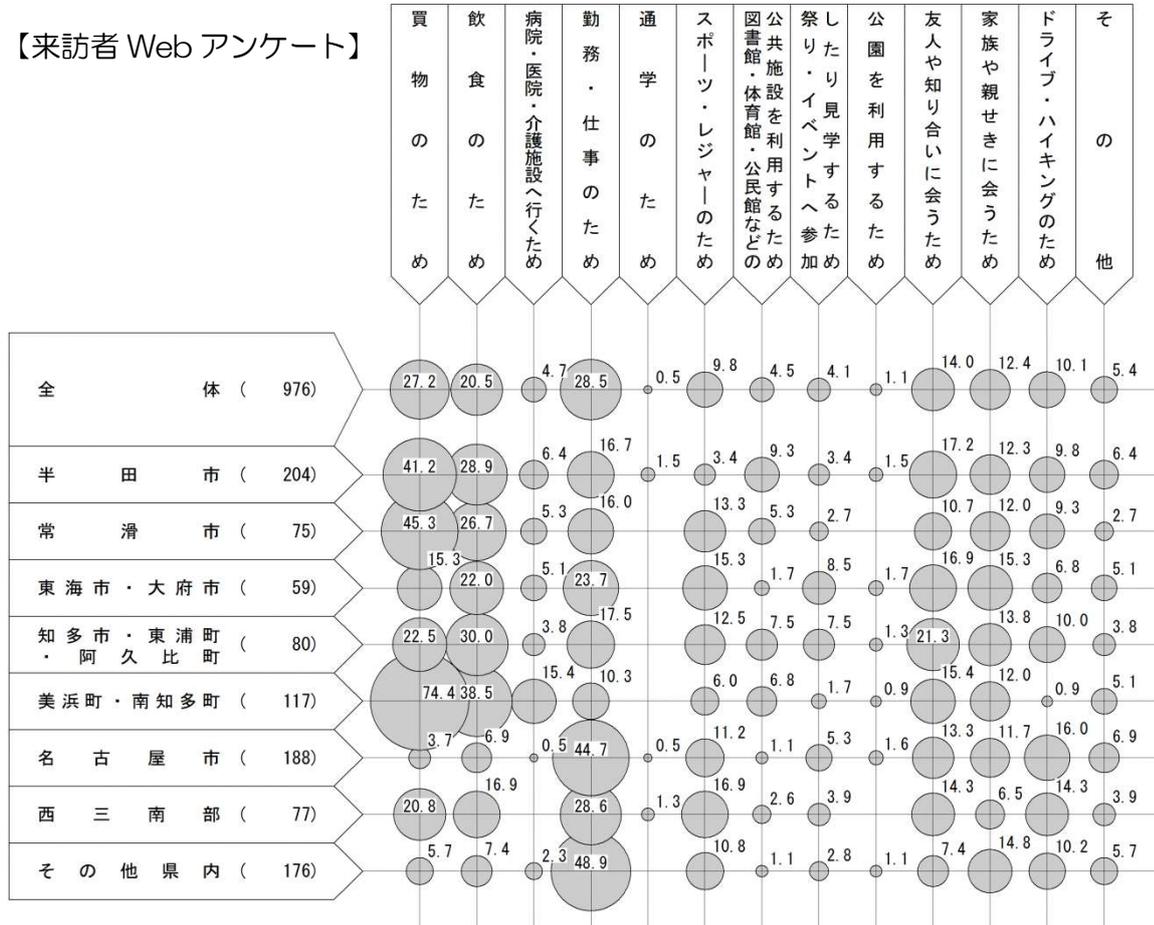
【来訪者 Web アンケート】



- 『図表-24 居住地別、武豊町への来訪目的』では、Web 来訪者調査によると、武豊町への主な来訪目的は買い物、飲食、仕事が多くなっています。
- 他市町の住民からみて、武豊町に対して悪いイメージを持っている人は非常に少ないものの、明確なプラスのイメージを持っている人は多くはないことがうかがえます。
(『図表-25 武豊町のイメージ』)

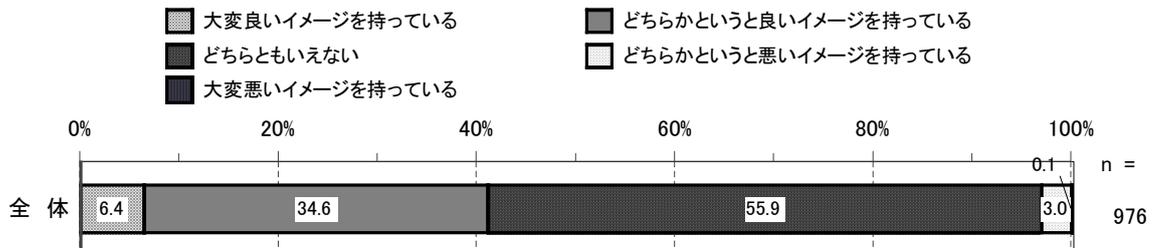
『図表-24 居住地別、武豊町への来訪目的』

【来訪者 Web アンケート】



『図表-25 武豊町のイメージ』

【来訪者 Web アンケート】



団体ヒアリングのまとめ

～各施策における課題・提案など～

- 1 実施期間：平成 31 年 1 月 30 日（水）～ 2 月 13 日（水）
- 2 テーマ：「環境美化」、「子育て支援・男女共同参画」、「産業」、「農業」、「スポーツ・健康づくり」、「観光」「障がい者福祉・高齢者福祉」、「芸術・文化振興」、「防災」の 9 テーマで、町内 13 団体を振り分けてグループヒアリングを実施しました。
- 3 対象団体：13 団体
明るい社会づくり運動推進協議会 / あじさいのまちづくり推進委員会
NPO 法人 Smiley Dream / 武豊町商工会 / 武豊町農業委員会
ゆめフルたけとよスポーツクラブ / 武豊町観光ボランティア協会
NPO 法人ゆめじろう / NPO 法人ほがらか企画
NPO 法人 P a k a P a k a / 武豊文化創造協会（NPO たけとよ）
舞台芸術企画ゆめっぴ / 武豊町防災ボランティアの会
- 4 主なご意見・ご提案：
 - ・雇用の確保や留置対策のために、製造業向けの工業用地（内陸部に 30 ha）の確保
《産業団体》
 - ・女性の社会進出に伴って社会課題を抱える子どもに対する施策・事業の検討
《子育て支援・男女共同参画団体》
 - ・医療費や介護費の削減に向け、福祉課と連携した健康管理やスポーツを必要とする人への支援
《スポーツ・健康づくり団体》
 - ・住民も巻き込んで、避難所等となる学校での備蓄（非常食）の配備
《防災団体》
 - ・町内で頑張る農業者を集めた法人化
《農業団体》
 - ・学校や P T A と連携した子ども向け観光ガイドの実施
《観光団体》
 - ・河川愛護などの活動を行うリーダーの養成
《環境美化団体》
 - ・認知症サポーター養成講座のように、発達障害サポーターの資格制度や養成講座を実施し、発達障害に対して理解のある人材の育成
《障がい者福祉・高齢者福祉団体》

地区別懇談会のまとめ

富貴小学校地区

- 1 日時 10月23日(水) 19:00～20:30
- 2 参加者数23人
- 3 主な意見 総意見数 67
 - 一番目に多かった意見：都市基盤 意見数 13
 - ・富貴駅東の信号の道路が広がったが右折専用の信号の設置の提案
 - ・富貴駅周辺の再整備がすすまない など
 - 二番目に多かった意見：健康・福祉 意見数 7
 - ・スーパーマーケットが遠い、今はいけるが今後が心配
 - ・高齢者世帯の増加(一人世帯) など
 - 三番目に多かった意見：道路 5
 - ・道路が狭くてわかりにくい、外からの人にとって入りにくいまち
 - ・道路アスファルト工事終了後のデコボコ(農道で簡易舗装だから) など

衣浦小学校地区

- 1 日時 10月24日(木) 19:00～20:30
- 2 参加者数18人
- 3 主な意見 総意見数 112
 - 一番目に多かった意見：コミュニティー 意見数 15
 - ・区役員のなり手がなくなってきている(回覧物や配布物が多いため)
 - ・トナリ組(区)に未加入者が多い
 - ・近隣の希薄化 など
 - 二番目に多かった意見：子育て 意見数 12
 - ・病児教育がない
 - ・兄弟・姉妹が同じ保育園に通えていない
 - ・意見を聞く会議が子育て・生産世代に向けられていない など
 - 三番目に多かった意見：交通 意見数 12
 - ・公共施設編交通手段が少ない(コミュニティバス・電車がいない)
 - ・年を取ってきてまちまで出る交通手段がない など

武豊小学校地区

1 日時 10月29日(火) 19:00~20:30

2 参加者数17人

3 主な意見 総意見数 100

一番目に多かった意見：防災 意見数 15

- ・区に入会していないマンション暮らしの方たちの防災について不安
⇒いざというとき困る
- ・災害時のとなり組の絆が低い。共助活動に不安有 など

二番目に多かった意見：子育て 意見数 9

- ・親が病気の場合の新生児(6か月)未満の預け先がない
- ・安全な子どもの遊び場が少ない など

三番目に多かった意見：コミュニティ 意見数 9

- ・若い人が少ないため子ども会の加入者が少ない(現在は20名)
- ・新しい人の流れが多い など

緑丘小学校地区

1 日時 10月30日(水) 19:00~20:30

2 参加者数25人 総意見数 93

3 主な意見

一番目に多かった意見：道路 意見数 14

- ・歩道が雑草ででこぼこ
- ・車いすでの通行ができない
- ・インターチェンジができると交通量増が心配 など

二番目に多かった意見：コミュニティ 意見数 11

- ・高齢により区の組長ができない人が多くなっている
- ・地域の方とのつながりが少ない など

三番目に多かった意見：地域活動 意見数 7

- ・若い人の地域活動への参加が少ない
- ・地域に新しい活動リーダーが出ない など

第1回まちづくり会議のまとめ

日 時：令和元年 11 月 16 日（土曜日）10：00～12：00

会 場：武豊町役場 2階 第2～4会議室

参加者：町民 18人
職員 10人

グループワーク内容：

- ・10年後のまちへの期待すること
- ・10年後のまちへ不安に思うこと
- ・10年後の理想的なまちや暮らしのイメージ

当日実施した参加者アンケートより

（アンケートを提出しなかった参加者もいるので参加者の集計とは人数は合いません）

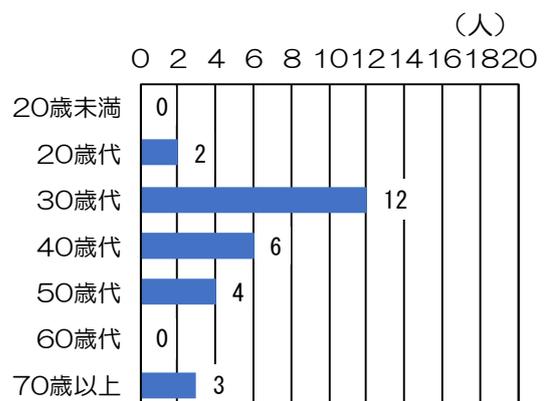
【性別】

回答者の性別は「女性」が8名、「男性」が19名となっています。



【年齢】

回答者の年齢は「30歳代」が12名で最も多く、次いで「40歳代」が6名、「50歳代」が4名と続いています。



第1回 武豊町まちづくり会議 のまとめ

《10年後のまちへの期待》

分野	10年後のまちへの期待	
都市環境	駅前再開発による賑わいのあるまち	駅前が再開発で賑わいがある場所になってほしい 駅前の発展
	蔵などの町並みが残るまち	蔵っぽい街並み 味噌蔵が残っていてほしい
	公園などが充実したまち	烏山に展望台を設置してほしい
		公園に人が一杯
		総合公園がほしい！
	公共交通が充実したまち	人々が気軽に外に出て交流し、ゆったりと時間を過ごす場所は家の近くや公園、公共の場など
		気軽に歩ける交通環境(歩道、照明、バス)
		公共交通施設の充実 公共交通の利便性の向上
	住みやすいまち	自然が多いけど便利なまち 住みやすいまちに！
		税収が減少のため、コンパクトなまち
比較的住みやすいまちではなく、本当に住みやすいまちに！		
程よい田舎		
子ども	子育てしやすいまち	子育て支援を日本中から注目されている
		子育て施策を充実して若い世代の集まる活気のあるまち(保育園の整備、医療費負担軽減)
		子育て世代家族の同居率増加
		子ども連れでも歩きやすい、出かけやすいまち
		もっと子育て世代の方々が孤立を感じない町になっているといい
	子ども、若者が暮らしやすいまち	待機児童受入れ先の増設
		子どもが安心して暮らせるまち
		子どもが暮らしやすいまち
		子どもが健康で夢が持てるまち
		子ども達が将来の夢や職業観が描けるようなイベントや催しが増えると良い
学び	地域に開かれた学校があるまち	地域に開かれた学校
	高齢者が活躍できるまち	お年寄りの活躍できる場(生涯学習)
		芸術のまち！
		趣味の場が充実している(スポーツ・文化)
		スポーツ施設、公園の充実
		スポーツ振興計画が作られている
		たまり・味噌を世界規模に！
		伝統・文化についてしっかり語って自慢できる住民が育っている！
		伝統文化を知らせ、受け継ぐ若い世代の育成
		文化活動が盛んになり、心豊かな時間を過ごすことができるまち
みんなが気軽に文化に触れることができる		
安全・安心	安全・安心に暮らせるまち	安全に暮らせるまち
		今以上に豊かなまちに！
		ちかんがいなくなれ！
健康・福祉	高齢者が暮らしやすいまち	各地区に高齢者施設の建設
		車の運転をしなくても暮らせるまち
	健康づくりのまち	高齢者がいきがいを持って活躍できるボランティアやイベントへ参加するまち 町民全体の体力アップ！(健康づくり)

分野	10年後のまちへの期待			
産業・交流	商業・レジャー施設が集積したまち	<p>今以上にお店が増えていると嬉しい！(特に飲食店)</p> <p>大型ショッピングモール</p> <p>大きな商業施設があるまち</p> <p>商業施設の充実(駅前再開発など)</p> <p>商業地域(個人経営)が少し増える</p> <p>日用品を買える環境がある(近所にスーパーなどがある)</p> <p>量販店、スーパー等の維持と充実</p> <p>レジャー施設の充実(温水プールなど)</p>		
	人が集い、賑わう観光のまち	<p>遊びに来てくれる人を増やす</p> <p>武豊に行こうと思われる魅力あるまちに！(観光面)</p> <p>他市町から来訪されるような(目的)のスポット開設</p> <p>人がたくさん集まるまち(外から)</p> <p>人が集まるまちに！</p> <p>人が気軽に集まれる場所が増える</p> <p>老若男女が交わるイベントが多いまち</p> <p>みそたろうが定着(PR部分)観光面の充実</p> <p>武豊町のマスコットキャラクター「みそたろう」の活用</p>		
	産業活動が盛んなまち	<p>JA拠点を活性化。意外と来客が多い</p> <p>企業誘致</p> <p>企業を誘致して活気のあるまちになっている。工業団地の整備</p> <p>地産地消の充実(農業等の産業発展)</p>		
	まちづくり・地域経営	暮らしたくなるまち	<p>海外から働きに来ている人が永住したくなるまちに！</p> <p>現在の中高生が戻ってきたくなるまち！</p> <p>武豊のいいところをはっきり言える、自慢できる</p> <p>定住者の多いまちになっていると良い</p> <p>若い人が多いまち！</p> <p>外から来たい！と思われるまちに！</p> <p>働き世代が住みやすいまちに！</p>	
		多世代が集い、交流するまち	<p>色々な地域活動が様々な年代ごと、年代が混ざり合っている</p> <p>子どもも若者も、大人も元気で関わり合っているまち</p> <p>困っていることを気軽に話せる環境</p> <p>多世代、多民族が隔たりなく関わりあう</p> <p>町全体が一つになっている。</p> <p>行方不明の方がすぐに見つかるまち</p>	
		みんなで支え合う住民活動が活発なまち	<p>今ある行事が継続している</p> <p>仕事と地域活動のバランスがとれる</p> <p>住民が積極的にまちづくりに参画している</p> <p>住民がまちづくりの真ん中にある住民自治のまち</p> <p>地域みんなが支え合う</p> <p>前向きに！活力あふれる！</p> <p>役場の職員と住民とが協働で、地域の広場でイベントなどの企画をする</p> <p>良好なご近所関係ができています(防災・防犯)</p>	
		行財政	広域連携のまち	<p>武豊独自でなくてもいい。知多半島の一部、真ん中ならでのモノ、コト</p>
			行政サービスが充実したまち	<p>明るい役場に！あいさつ、対応等で</p> <p>マイナンバーカードの活用で事務の効率化</p>

《10年後のまちへの不安》

分野	10年後のまちへの不安	
都市環境	公園や緑の減少	新しい住宅地で緑が少なくなっている
		公園などが減少(災害時に避難できる広場が減少)
子ども	子どもの減少 子どもの居場所の減少	子育て世代家族の入居率低下
		子どもの居場所、待機児童が問題に。
		子ども達がこの地域に残る?暮らし続けるか?
		子どもが少ないまち
		子どもの減少
		子どもがいない地区が出てくる
		高齢化し、次につないでいけるのか?若者の担い手不足?
	若い人の雇用	
若者が少ないまち		
子どもの貧困	学費や医療費など経済的な問題が子どもの将来を左右する	
学び	学校の統廃合、クラス数の減少	子どもの数が減って小中学校が統廃合されたりする
		学校(富貴)が1学年1クラスになる
		子どもの減少による学校等の数が減る
ひきこもり・不登校児	ひきこもり、不登校児が増加する	
健康・福祉	医療体制の不安	医療体制。特に災害時の受入れ
		病院の減少
	高齢者の増加	高齢化率が上がる
		高齢者ばかりになっている
		子どもが遠方に住み、親子関係の希薄化(一人暮らし高齢者が増える)
		孤立する人、家族の増加
	高齢者施設の不足	ひとり暮らしの高齢者が増える
		住民が高齢者ばかりになる
高齢者施設、設備の低下		
高齢者のための施設やサービスは大丈夫??		
生活に困る人の増加	高齢者世帯の増加、受け入れ先の不足	
民生費の増大	介護に困る人が増える	
安全・安心	空き家の増加	生活(お金)に困る人が増える
		民生費の増大
		高齡化による福祉費の増大
		空き家が増えて寂しい街並みになっていないか
	交通事故の増加	空き家だらけに
		空き家が多くなっている
		空き家
		昔の地区が空き家ばかりになる
災害への不安	事故率が愛知県ワースト1位	
	交通事故の増加	
	事件や事故が多い	
	災害	
犯罪の不安	災害対策が進まない	
	しよつちゅう水害	
	子どもの連れ去りや高齢者の振り込め詐欺	
	施設の老朽化	
産業・交流	店舗の減少	公共施設の老朽化
		店のシャッターが閉まっている
	耕作放棄地の増加	食料品店舗の減少
		耕作放棄地の問題
活力低下	遊休農地の増加	
地域イベントの低下	少子高齢、人口減少による活力低下	
環境	環境問題の発生	地域イベントが少ないまち
		環境汚染(クリーンセンター等)
		公害発生の増加

分野	10年後のまちへの不安	
まちづくり・ 地域経営	人口減少、町外への流出	人口減少
		人口減少
		人口減少
		人口の減少
		町外への流出
		半田へ吸収
		若い世代の減少
		若い人が町から出ていってしまう
		若者が少ない
	外国人の増加	外国人の増加
		日本語をしゃべれない外国人が多くなっている
	地域コミュニティの低下	区加入者の減少
		新しく入ってきた人達との関わり方
		住民同士のコミュニティ活動が少なくなって、バラバラで助け合いが無くなっている
コミュニティが成り立たない		
福祉等の担い手不足		
ボランティアをする人が増えない		
荒れた雰囲気、ほっこりを感じられない、町を愛する人が少ない		
住民同士の関わりがない		
人と人とのつながりが希薄化		
地域格差	人口減少、少子高齢化で地域格差ができる	
行財政	住民サービスの低下	住民サービスの低下、廃止へ！
		人口減少で税収が減り、行政サービスが低下する
	税収の減少による増税	少子高齢化で人口が減少、税収が減少
		町民税の増加
武豊町が存在しているか	町の合併	

《10年後の理想的なまちや暮らしのイメージ》

タイトル	理想的なまちのイメージ	理想的な暮らしのイメージ
誰もが暮らしやすいまち	子ども、若い人から高齢者まで暮らしたいと思ってくれるまち	次世代に遺すもの、こと、不安なくいたい
	子どもが希望や夢をイメージしやすく、高齢者が暮らしやすいまちづくり	みんなで協力しながら意見を出し合い、よりよい町になるよう、サポーターになる感じ
	町に活気があり、老若男女で笑いがあふれるまち(公共福祉施設、インフラが整備されている)	歩きでも不自由のない暮らし
	どの世代の住民も豊かに暮らし、町外の人から「行きたい」、「住みたい」と思われるまち	イキイキした町民の方たちと一緒に楽しく暮らし、働く!
	みんなが幸福を感じることができるまち	笑顔のあふれる暮らし
安心・安全なまち	安心、安全で不安なく子どもから高齢者まで夢を持って楽しく暮らせるまち	自分の事は自立しつつも、必要な時は助け合いながら穏やかな暮らし
	安心できるまち	自然と共にのんびり
	町外から住んでみたい、住みよいまち、地震や台風に安全なまち	お年寄りが安心して暮らせるまち
いきいきとしたまち	町民が生き生きとしている、子どもから高齢者の交流ができるまち	健康で幸せを感じられる暮らし
	人が生き生きとし、集まるまち	地域と関わりながら生活する
笑顔の絶えないまち	いろいろな世代、いろいろな国の人々がニコニコ歩いているまち	信頼関係の中で安心して暮らしている
	誇れる町並み、笑顔の絶えない明るいまち	他市町村へ出向かなくても武豊町内ですべて事足りる
子育てしやすいまち	子育てしやすい活気のあるまち	子どもがスクスク育つまちでの生活
	子どもが沢山なまち	子どもを見守る暮らし
	子育てが楽しいまち	自分の子どもだけでなく、関われる暮らし
支え合うまち	行政と住民が協力できる明るいまちづくり	買い物、病院、娯楽など、町内で済ませられたらいいな。
	子どもからお年寄りまでがみんなつながっている、支え合うまち	地域の中で活躍する暮らし
	みんなが前向き、支え合うまち	忙しくも充実している暮らし
住みよいまち	今よりも住みよいまち	公私ともに充実した暮らし
	生活する上で必要十分な基盤、サービスが整っているまち	愛着を持ち、満足できる暮らし
	知多の真ん中、武豊町	移動、住みやすさ、すべてがほどよい暮らし
つながりのあるまち	「た」しい行事が多く、「け」いかんが良く、「と」にかく、「よ」い人の多いまち	人と人のつながりがある暮らし
	生活する近くに緑があり、気楽に出かけ、時間を過ごすことができる、人と人がふれあい、文化活動を楽しむことができるまち	時間があれば散歩し、音楽などの文化活動に触れ、ゆったりと過ごす
バランスのとれたまち	自然環境と生活環境のバランスがとれているまち	ストレスなく不便さを感じない暮らし
魅力的なまち	散歩していて楽しい町並み、風景	公園で日向ぼっこのできる豊かなまち
	展望台とか、レストラン公園、水族館	
活気があるまち	町全体に活気がある豊かなまち	ストレスフリー
働けるまち	町内で働けるまちづくり	充実した生活環境が送れる

第2回まちづくり会議のまとめ

日 時：令和元年 12 月 21 日（土曜日）10：00～12：00

会 場：武豊町役場 2階 第2～4会議室

参加者：町民 20人
職員 9人

グループワーク内容：

- ・「①都市環境」「②子ども」「③安心・安全」、「④環境」の4つの基本計画の分野に分かれ、まちづくりの取り組みアイデアについて考えました

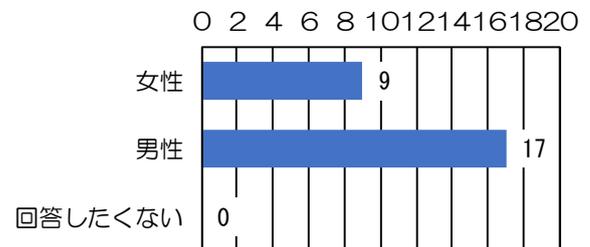
当日実施した参加者アンケートより

（アンケートを提出しなかった参加者もいるので参加者の集計とは人数は合いません）

【性別】

(人)

回答者の性別は「女性」が9名、「男性」が17名となっています。

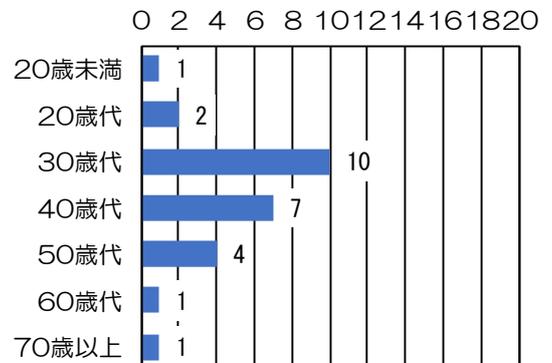


【年齢】

(人)

回答者の年齢は「30歳代」が10名で最も多く、次いで「40歳代」が7名、「50歳代」が4名と続いています。

なお、20歳未満から70歳以上と幅広い年齢の参加になっています。



第2回 武豊町まちづくり会議 各分野のまとめ

≪分野 ①都市環境≫

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
駅周 辺・中 心市街 地	駅周辺のニー ズ把握	駅前の再開発	町民がどのようなことを求め ているか、期待しているの意 見を把握		
	一方通行の 改善、公共施 設の移転によ る区画の再編	知多武豊駅周辺の一 方通行	駅西側の区画再編。役場庁 舎を移転し、広場や商業機 能を設ける		
	人が集まれる サロンやカフ ェによる賑わ いづくり	中心市街地の活性化	人が集まる仕組みの検討。 誰もが気軽に集まれるサロ ン、カフェに図書機能を備え て	地域住民などによる まちの運営	4 票
		飲食店が少ない	みゆき通り、国道 247 号沿 道の再開発	町有地でのマルシ ェやイベントなどによ る賑わいづくり	2 票
	名鉄の高架 化	駅前整備	名鉄知多武豊駅の高架化		
	駐車場整備	駅前駐車場問題	役場駐車場の確保		
道路	みゆき通り、 古場武豊線 の拡幅	道路整備	町道、県道の拡幅(みゆき通 り、古場武豊線(上ヶ駅東 側))	名鉄を越えるのが 困難 新しいインターチェ ンジにより交通量が 増大する！	1 票
		インターチェンジに伴う 道路の拡幅			
	生活道路へ の通過交通の 抑制	道路が狭い	道が狭いわりに、車がスピー ドを出す。道幅を広くしてほ しい	交差点での事故の 危険性	1 票
街路樹	常緑樹(サザ ンカ、クスノ キ)による街 路樹整備	街路樹の植樹	ウォーキングができるようにし て健康づくりにつなげる。ベ ンチの設置、歩道に〇〇k mと表示	体育館からのウォー キングルートの設定	
公園	公園の整備と 利用促進	公園の整備	トイレの設置、公園活用のため に地域住民による管理運 営	利用されていない 公園が多い	
		公園の活用推進	条件を設け、火気の使用を 認める(地域イベント、炊き 出し訓練、食イベントなど)	火気使用やボール 遊びなどの自由な 遊びができる場	4 票
	総合公園の 整理	子どもと行きたくなる公 園がない	総合公園の計画を見直し、 部分的に整備を進める		
	JAによる無 料草刈り講習 会の実施	公園の維持管理			
	道路、公園、空き地の 草刈り問題	住民ボランティアを組織して 草刈りを進める。草刈り機の 講習会の開催をきっかけに	燃料は役場負担	3 票	

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
交通	個別相乗りバスなど、コミュニティバスの充実	移動制約者への対応	コミュニティバスの充実、個別対応の検討	一方方向への路線のため、右回り、左回りの路線に改善 コミュニティが生まれる空間でバスの規模も良い 料金をどうするか の検討が必要	
公共施設	公共施設の有効活用	古い公共施設	解体コストが上がる前に解体する。一部、有効活用ができるものは、選考方式で活用検討	耐震不備で廃墟になった老人福祉センター横のデイサービス施設を公園管理事務所に活用	
				役場も安全な場所へ移転を！	
				総合公園などに、オリンピックなどのスポーツイベントでチームが泊まれ、スポーツ合宿ができる宿泊施設と練習場の整備	
住宅	安価な住宅供給	住環境	安価な住宅地の提供、空き家対策で人口増加を図る	空き家を活用し、移住や2地域居住、暮らし体験ができる家を確認	
	空き家の活用			町と住宅メーカーが一緒になって空き家のリフォームをしながら賃貸・売買 孤独死対策として、空き家を使って高齢者が集う共同住宅を整備	1票
移住促進	住みやすさ、買い物先、医療、働く場所などの紹介			役場と商工会が連携し、町内の事業所の人手不足の解消と住民の雇用機会の確保のための求人募集を実施！ (製造業、建設業など)	
臨海部	臨海部のPRと公園等の整備	臨海地域に何がある？	釣り場、公園、BBQ場などの楽しめる場づくり		1票

《分野 ②子ども》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
病児保 育を！		働く親を応援する病児 保育の整備	行政の支援が必要。例えば 民間とのジョイントを主導す るなど		4 票
		母親が安心して仕事に 就けるように	病児保育の充実		
切れ目 のない 保育サ ポート		妊娠、出産、育児にお ける切れ目のないサポ ート	悩みを相談できる場の充 実。保健師当の専門家によ るサポート		2 票
孤育防 止		ワンオペ子育てを失く す	地域交流の場や子どもと一 緒に友達がいなくても参加し たいと思えるイベントの実施		2 票
		就園前の子育て支援の 充実	子育て支援センターや児童 館でのイベントの充実		
		子どもが孤育てになら ないように親への支援	親子で集える場の提供		
親子サ ロン	パパも参加	子育てお父さん教室	家族で育てるために、お父さ んの子育てサロン	サロンのような来て 下さいサービスでは なく、訪問型サービ ス、ネットサービス	2 票
		子育てサークルがない (少ない)。子育ての母 の集まり、育児ボランテ ィア	子育て支援センターなどで 核となりそうな人への声掛け ィア		
児童ク ラブの 充実		待機児童受入れ先の 増設(年長)	学校外で通学路範囲内ので 学童保育所の新設(親御さ んの働き手も増える)		
		働きながら子育てしや すいまち	保育園待機児童なしのた め、施設の確保、定員の見 直し。児童クラブの待機児 童なし		
		児童クラブ(心地よい居 場所)	学校や地域コミュニティセン ターで、リタイアされた方や 地域の方が中心となって場 を提供		
小さい うちか らの親 になる 教育		未来の父母を育てる！	多年齢での子どもの関わりを 増やす		1 票
子連れ でも気 軽に行 けるお 店		子どもを連れて入りやす いお店！	プレイルームがあるお店がほ しい		
雨の日 の休日		休日どこかへ行こう問題 を軽く	雨の日でも遊べる施設、公 園の増設		

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
でも遊べる場					
支援の必要な子どもの保護・サポート		要保護対策	保育園、学校、行政、児童相談所の連携強化		3票
		子どもの貧困、ネグレクト	夏休みの宿題サポートなどと子ども食堂のセット		
子どものチャレンジ	小中学生の自己肯定の育成	子どもがチャレンジできる⇒自己肯定感を高める	イベントの企画、運営、反省を子ども達中心で行う(みゆき通りまつり、ハロウィン祭りなどで)	中学生のジュニアリーダー(20数名)あり。企画から運営まで実施。得意を発見してマッチング！山車のレプリカづくり、ほめてもらえる体験を！認めてもらおう	4票
		町別、区別の親子競技	子どもに目標、目的、夢を与えるため、総合公園等で町又は区対抗で季節に分けて大会。〇〇町〇〇区の〇〇さんが、〇〇種目で〇位と発表		
	子どもまちづくり会社	子どもの頃から地域問題を考える機会づくり	サービスラーニング、子ども市民活動の取り組み		
	サイエンスラボ	チャレンジできるシステム	サイエンスや特技を生かして伸ばしていけるような支援を行うサイエンスラボの設置など		
	体系的な職業体験	職業体験を体系的に	中学の一時期だけでなく、例えば3年間一貫して行うなど(企業の出前授業など)	組織的、総合的な対応が必要	
やりたい事を思い描けるようにするために		色々な業種の方々が話を子どもにできる、遊びを通して学べるイベントの実施			
政治教育、主権者教育	政治教育、主権者教育	疑似体験(選挙、国会、議会)			
多文化共生	インクルーシブ教育～障害、国籍も越えて	隙間を作らない(インクルージョン)	外国人子弟への日本語教育を学校で専門家が行う。多文化共生	人権教育も！	3票
		誰もが学びやすい学校	インクルーシブ教育。共に暮らす、共に働くイメージを作る		
		人権教育、性教育	一人ひとりが大切な存在であることを伝えるSOSを出せる教育		
学校に行きづらい子どもの居場所		多様な学びの場づくり	学校内外での不登校児の居場所をつくる。出席に認定できる範囲を拡大する(民間、ボランティア等)		

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
地域ぐるみの 手厚い 学校教育		子どもの減少に対応して	手厚い教育ができるチャンスにする。学校と地域の連携を広げる		1票
15年の シームレス 教育		15年で子育てを考える	中学校卒業時に「こうなっていたい！」というビジョンを描いて育てる町		5票
県内移住で子どもを増やす		子どもを増やす。安心して暮らせる町にする	若い人口を増やすだけでなく、「県内移住」、「県内留学」なども検討する		
親子参加の託児付き会議を		町の主催する会議へ子育て世代の参加を増やす	育児ボランティアの利用などを対応できるようにする。託児はないが参加できるようにする	別室でないのが大事！	

《分野 ③安全・安心》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票	
防災	町内在勤者は防災情報を知らない	災害への不安	学校で、地域で防災マップなどの情報を知る、学ぶ機会をつくる(情報が伝わっていない)	事業所、企業も防災情報を自分の情報にすることが大事 18の自主防災会⇔自分情報	3票	
	学校で学ぶ				5票	
	地域版防災マップ作成				3票	
	ハード整備 (高潮防波堤の老朽化)	地震・台風対策	津波や高潮の対策			
		土砂崩れ				
	災害直後の電力 避難所の救護所ルールをもっと周知しないと	災害	安全ロードマップ		防災ボランティアではチェックが進んでいる	3票
		防災総合訓練	たぶん避難所と救護所の違いもわからなくてパニックにならないか			
		防災(避難所)	役場、大きな避難所(総合体育館)へ避難者が偏る。その割に物資、資材の備蓄、開設方法がはっきりしていない			
		災害後の備蓄、電力	何人が何日避難できるのかを分かりやすく。電気が使える場所は？			
	民間で活用できる資源	災害時(停電時)に使える物が少ない	補助を個人に対して出す(灯、井戸)			2票
防犯	地域のつながりを防災・防犯力に	一人暮らし問題(防災、防犯対策として近所との関わり)	地域内の関わりを強くしよう！地域内でのコミュニケーション機会を増やすため、地区会の開催や強化	高齢者の安心・安全	4票	
		犯罪の不安	地区や常会がより親密になるより良いネットワーク、コミュニケーション(公民館の集まりをラジオで周知)			
	昼間の通学路パトロール (15時または16時)	ちかんと外国人	車での連れ去り、尾行(ついてくる)、言葉が通じない人			
		不審者や連れ去り	低学年、高学年の部活後の時間帯に通学路のパトロール⇒マップ化			
	空き家対策	空き家が増える	高齢者サロンや終活勉強会で空き家対策について周知する			
	空き家活用	空き家対策	移住の促進策に生かせないか？			
	空き地の活用も考えて	市街化調整区域を減らす	土地の活用を			
	防犯	街路灯を増やす、防犯カメラを増やす	補助がある	3票		

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
	街路灯や防犯カメラの設置	防犯(ちかん)	薄暗い道が旧市街地にはまだ多い。街灯、防犯ベル等の増設		
		防犯について	抑止力としての防犯カメラの設置		
		災害、犯罪	街路灯を増やす(自然エネルギー仕様)		
	自転車のパーキング	自転車の盗難により、車を使う⇒事故	自転車のコインパーキング(鍵が無くても止められる)		
交通安全	狭い道路の歩車分離	朝の駅前(名鉄からJR)が、交通量が多く危ない	屋根付きの歩行者専用道路の整備		
		交通事故	歩行者通路拡大、自転車用通行帯、一方通行路の明確化		
		交通安全	歩道がなく、狭い所が多い		
	危険なところの情報把握	交通事故	道路の整備(回覧板などで危険な所がないかをアンケートを取って情報をもらう)	危険なところの情報把握	
	子ども感覚で交通安全を考える	子どもの交通安全	車側ではなく、歩行者、自転車からの視点で強化、不審者の対策		
	ガードレール設置	交通量または通学路、区域指定してガードレール	道路幅が可能な限りガードレールの新設		1票

《分野 ④環境》

項目	コメント	分野についての課題	課題解決に向けた取組み アイデア	備考	投票
ごみ	ごみの減量	ごみの有料化	ごみを出す側の負担だけでなく、処理する側もメリットが出るような仕組みづくり	子どもへの環境教育	4票
		ごみ減量化	生ごみコンポストの共同利用		
	不法投棄	不法投棄	リサイクルとして使えない物を勝手にポイ捨て	週4日のパトロール	1票
		ごみのポイ捨て	子どもの頃からの意識付け	環境イベントで楽しく学ぶ	
	ごみの分別	ごみ分別の英語表記	英語、中国語等でリサイクルステーションに表記	外国語で説明	
自然	草・道路管理	草(道路とか)	地域でこまめに管理できるような仕組み		
		歩道の清掃	シルバーさん		
	自然とのふれあい	公園の木、道路の草、緑、土の減少			2票
		住民が気軽に自然と触れ合える場所や機会がもう少しほしい	自然公園(暗い・怖い、知られていない)をきれいにして、訪れたいと思う場所にしたい		
公害	ペット・動物	野良動物(犬、猫、タヌキ、イノシシ、カメ)はいらなくなったらポイ捨てされる			1票
		ペットの糞			
		野良猫			
	臭い	煙(加藤化学)のにおい(水あめ)			
エネルギー	地球温暖化対策	温暖化対策(排ガス)	減税によるエコカーの推進		1票
		排ガス	町内のバスの電氣化	電氣自動車の普及	
		地球温暖化	ノーエアコンデー		1票
		温暖化	エアコン、車の使用を控える		
		電力(災害時、健康被害)	正しい知識、情報の周知	電線の地中化、電波による健康被害	
		エネルギー(発電)	町としてまわせるだけの電力会社があれば	エネルギーの地産地消	1票
		ごみ処理とエネルギー	バイオマス発電につながるシステムがあれば・・・。	CO2 排出ゼロ宣言のモデル都市 CO2 排出と削減のバランス(数値で示す見える化)	2票

第5次総合計画 成果指標一覧

資料 9

R2目標達成
未達成(数値向上)
未達成(数値低下)
未達成(数値維持)

【住民満足度】

基本指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
			実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
武豊町の住みごち	町民意識調査で住みやすいと評価した割合	80.6%	85.4%	86.0%	86.9%	83.3%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
今後の居留意向(町民)	町民意識調査で今後も暮らしたいと回答した割合	86.3%	89.3%	87.4%	90.8%	84.2%	増加	上下変動の傾向がある指標。H29より低下しているが高い値で推移している
今後の居留意向(中学生)	中学生意識調査で今後も暮らしたいと回答した割合	61.7%	79.4%	80.5%	74.6%	67.1%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
武豊町の魅力や誇り	町民意識調査で魅力や誇りを感じると回答した割合	50.4%	63.8%	63.6%	62.8%	56.3%	増加	R2目標達成(基準値(H18)より増加のため)
現在の幸福感	町民意識調査における幸福感に関する10段階評価の平均値	—	7.0	7.0	7.0	6.8	増加	わずかに低下している。低下した初年度であるため今後の推移に注視する
5年前と比べた幸福感の変化	町民意識調査でより幸せになったと回答した割合	—	25.0%	25.1%	21.8%	19.1%	増加	「より幸せになった」に「変わらない」を加えるとH29より高くなっている。不幸になったは減少している

【しあわせプラン】

しあわせ目標	しあわせ指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
子育てがしやすく・子どもが安心して暮らせるまち	子育て世帯の「子育てのしやすさ」に対する満足度	町民意識調査で「子育てのしやすさ」に『満足』または『やや満足』と回答した子育て世代の割合	—	37.0%	41.6%	40.5%	45.3%	50.0%	数値向上
	「地域で子どもの安全・安心が確保されている」と感じる町民割合	町民意識調査で『地域で子どもの安全・安心が確保されている』と回答した割合	—	20.2%	21.2%	21.8%	20.3%	35.0%	ほぼ横ばいの値。20代・30代・40代の子どもを持つ世代の値は上昇している
	「学校を楽しんでいる」と感じる中学生の割合	中学生意識調査で学校について『とても楽しい』または『どちらかといえば楽しい』と回答した割合	—	87.1%	87.6%	91.0%	86.0%	100.0%	「楽しい」が減り、「楽しくない」が増えておりその間(どちらかといえば楽しい、楽しくない)の回答は変わらない。減少した初年度であるため今後の推移に注視する
あたたかい絆が育まれているまち	地域で支え合う風土があることへの満足度	町民意識調査で「近所で共に助け合い、支え合う関わりがある」に『満足』または『やや満足』と回答した割合	—	15.8%	17.1%	17.9%	20.7%	20.0%	R2目標達成
	地域活動に参加している町民割合	町民意識調査で『地域の行事やお祭りに参加している』と回答した割合	—	32.7%	47.3%	47.8%	43.5%	40.0%	R2目標達成
	家族と良好な関係を築いている町民割合	町民意識調査で『家族と良好な関係を築いている』と回答した割合	—	91.7%	93.5%	90.9%	91.0%	92.0%	数値向上
みんなの「おもい」が叶うまち	生きがいにしていることがある町民割合	町民意識調査で『生きがいにしていることがある』と回答した割合	—	68.2%	71.0%	68.6%	65.9%	75.0%	20代で「ある」とする回答が減少している。若者が生きがいを見いだせる社会づくりが必要と考える
	自分が活躍できる場がある町民割合	町民意識調査で『自分が活躍できる場がある』と回答した割合	—	55.3%	55.3%	56.1%	51.9%	65.0%	10代は大きく上昇しているが他の世代で伸びていない傾向がある。高齢化、共働き世帯の増加に伴い、活躍できる場に身を置くことが難しくなっていることが考えられる
	みんなが集まれる場所(憩いのサロンなど)の数	憩いのサロンの拠点数	—	10か所	11か所	13か所	13か所	14か所	数値維持
	人から頼りにされていると感じる町民割合	町民意識調査で『人から頼りにされている』と回答した割合	—	53.4%	56.4%	53.9%	52.3%	65.0%	10代は大きく上昇しているが他の世代で伸びていない傾向がある。2世代、3世代同居は高くなる傾向がある。単身・1世代世帯の増加の影響が含まれると考える

【基本目標1】ともに創るまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
1-1. 住民がまちづくりに参加しやすいまち	住民参画のしやすさへの満足度	町民意識調査で「住民がまちづくりに参加しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	8.6%	10.4%	7.8%	12.3%	15.1%	20.0%	数値向上
	町政、まちづくりに関心がある住民の割合	町民意識調査で「町政、まちづくりに関心がある」と回答した割合	—	61.5%	59.7%	57.3%	57.0%	70.0%	10代、70代以上は上昇している。まちづくりに「関心がある」人は増えており中間層の「どちらかといえば関心がある」が減少した
	ボランティアセンター登録者数	基準日(6月1日)における、武豊町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録されている人数	1,002人	1828人	2,266人	2,429人	2,400人	1,900人	R2目標達成
1-2. 情報が相互に発信されているまち	住民意向の反映状況への満足度	町民意識調査で「行政に住民の意向が反映されている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	5.6%	10.7%	9.3%	12.3%	11.5%	15.0%	満足、やや満足は全体的に低いが普通を加えると年代を上げるごとに高くなる傾向を示している。70代では70%近くまでなる
	行政情報の発信への満足度	町民意識調査で「行政情報が住民に公開・発信されている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	13.1%	23.3%	21.0%	23.0%	26.6%	33.0%	数値向上
	町ホームページの年間アクセス数	当該年度における、町ホームページへの年間アクセス件数	12万件	19万件	18万件	8万件	8万件	21万件	数値維持
1-3. 住民に満足される行政サービスが行われているまち	行政サービスに対する満足度	町民意識調査で「行政サービスが充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	7.2%	19.3%	14.3%	19.6%	20.0%	25.0%	数値向上
	縦割り行政の弊害を感じたことのある職員の割合	職員アンケートで「縦割り行政の弊害を感じたことがある」と回答した割合	(平成19年)72.6%	63.8%	64.0%	—	64.0%	50.0%	数値維持
1-4. 健全に行財政が運営されているまち	税金の使い方への満足度	町民意識調査で「税金が正しく効果的に使われている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	6.2%	10.9%	8.7%	13.0%	13.1%	20.0%	数値向上
	実質公債費比率	当該年度における実質公債費比率(町の収入に対する負債返済の割合)	—	3.3%	3.1%	2.0%	1.0%	5.0%以内	R2目標達成
	広域行政事務数	広域で実施している事務数	4事業	6事業	6事業	6事業	6事業	7事業	数値維持

【基本目標2】安全に暮らせるまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
2-1. 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち	徒歩や自転車で道路を安全に通行できることに対する満足度	町民意識調査で「徒歩や自転車で道路を安全に通行できる」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	9.5%	18.1%	14.1%	16.4%	27.8%	20.0%	R2目標達成
	通学路の歩道設置率	基準日(4月1日)における、公安法第6条第3項の政令で定める通学路のうち歩道が設置されている延長の割合	68.8% (—)	78.1% (59.4%)	— (59.4%)	— (59.4%)	— (59.4%)	80.0%	県下で集計していたデータを指標としていたが集計方法が変更になりH27年度以降データを得られなくなった。参考値として現在の集計方法による歩道の設置率を()で表示した。
	交通事故発生件数(人身事故)	当該年度の交通事故発生件数(人身事故)	306人	202人	156人	149人	145人	190人	R2目標達成
2-2. 道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち	主な幹線道路の整備率	基準日(3月31日)における、主要幹線道路4路線のうち整備済みの延長の割合	41.7%	55.6%	55.6%	54.3%	55.5%	68.1%	数値向上
	車での移動のしやすさの満足度	町民意識調査で「幹線道路が整備され車で移動がしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	29.3%	34.5%	30.3%	33.1%	31.0%	40.0%	20代・30代では上昇しているがその他の年代で低下傾向を示している。移動先、移動範囲で評価が分かれていると考える
	公共交通機関の利用しやすさの満足度	町民意識調査で「公共交通機関が利用しやすく便利である」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.9%	25.5%	22.1%	29.5%	24.3%	30.0%	10代・20代・30代は大きく伸びているが60代・70代は落ち込んでいる。鉄道を主に念頭に置いた回答と考えられ、若年層は駅まで容易に行けるが高齢者は駅までの移動が困難で駅までの移動についても考慮したものと考えられる。高齢化に伴い値が下がったものと推測される

2-3. 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち	犯罪発生件数	当該年の刑法犯発生件数	504件	306件	252件	230件	223件	280件	R2目標達成
	災害への備えができていない住民の割合	町民意識調査で「普段から災害に備えている」と回答した割合	39.9%	49.2%	53.2%	51.2%	50.2%	55.0%	60代以上で上昇しているが他の年代が伸びていない。特に30代で低下している。引き続き地域の防災訓練への参加を呼び掛けるなど町としての情報発信に努める
	木造住宅耐震診断実施戸数	当該年度までに「民間木造住宅耐震診断事業」により、耐震診断を実施した木造住宅の総戸数	852戸	1,173戸	1,254戸	1,361戸	1,400戸	1,600戸	数値向上

【基本目標3】ふれあいのあるまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
3-1. 集い・憩える魅力的な場所があるまち	公園を利用する人の割合	町民意識調査で「近所の公園や児童遊園地を利用している」と回答した割合	31.4%	28.6%	30.8%	28.4%	25.8%	30.0%	20、30、40代で低下している。10代は児童館、50代以上は公園の利用が想定されるがいずれも上昇している。
	1人当たりの公園面積(都市公園、ちびっこ広場等)	基準日(3月31日)における、町内にある都市公園、緑地、ちびっこ広場、子どもの遊び場等の人口一人当たりの面積	21.8㎡	22.3㎡	17.3㎡	17.2㎡	17.1㎡	23.0㎡	H25.3.31にて名古屋市野外活動センターの廃止により、1人あたりの公園面積が大幅に下がった。その後は開発行為による公園の増加はあるものの、人口増加の割合の方が大きい。そのため、一人当たりの面積は減少している [都市計画課]
3-2. 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち	趣味やスポーツを楽しんでいる住民の割合	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツなどの活動を楽しんでいる」と回答した割合	56.6%	52.6%	53.7%	54.7%	52.9%	65.0%	60代以上で上昇しているが他の年代が伸びていない。特に50代で低下している。全体としては、基本的に横ばいで推移している
	社会教育・文化振興事業の参加者数	当該年度における、社会教育、文化振興(中央公民館)および町民会館文化振興事業の延べ参加者人数	30,649人	29,755人	31,380人	28,992人	28,243人	33,000人	年によって増減があり、30,000人前後で推移している。共働き世帯の増加に伴い、余暇を文化・芸術に充てる時間が減ってきていることが想定される
3-3. 地域活動が活発に行われているまち	地域活動に参加している町民割合	町民意識調査で「地域の行事やお祭りに積極的に参加している」と回答した割合	39.8%	32.7%	47.3%	47.8%	43.5%	40.0%	R2目標達成
	自治区の加入率	当該年度における、自治区に加入している世帯割合	71.2%	68.0%	68.3%	67.3%	64.9%	70.0%	高齢化、共働き世帯の増加に伴い、地域活動への参加を負担に感じるものが一つの要因として予想される。単身、1世代家庭の増加に伴い町内の世帯数全体は増加傾向にある

【基本目標4】子どもが健やかに育つまち

めざすべきまちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
4-1. 安心して子どもを 生み育てることができるまち	子育てしやすい満足度	町民意識調査で「子育てがしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	17.7%	24.4%	24.7%	25.9%	22.2%	30.0%	20代・30代で「満足」は上昇している。「やや満足」を加えると値が落ち込んでしまう。多様な働き方であった子育て支援の充実が求められる
	子育て支援センターの延べ利用者数	当該年度における、子育て支援センターの利用者数	9,588人	18,536人	18,625人	19,788人	20,698人	19,000人	R2目標達成
	母子関係事業の参加延べ人数	たまごろう教室(両親教室)等母子関係事業への参加延べ人数	2,699人	3,837人	3,820人	3,284人	3,305人	3,850人	数値向上
4-2. 働きながらも子育てをしやすい環境が整っているまち	1・2歳保育の定員数	1・2歳保育の定員数	111人	180人	207人	225人	237人	240人	数値向上
	児童クラブの定員数	児童クラブの定員数	78人	200人	210人	245人	260人	260人	R2目標達成
4-3. 子どもが楽しく学校生活を送っているまち	不登校児童・生徒の復帰率	当該年度に、30日以上登校しない、あるいははたかともできない状況(病気や経済的な理由によるものを除く)にあった児童・生徒が復帰する割合	40.0%	39.4%	42.5%	30.7%	50.0%	55.0%	数値向上
	学校給食の残食率	給食センターが作ったおかずの量と主食(ご飯、パン)と牛乳を除いた学校からのおかずの残量の割合	3.2%	1.2%	1.3%	0.9%	0.9%	1.0%	R2目標達成

【基本目標5】いきいきと暮らせるまち

めざすべき まちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
5-1. 楽しく健康づくり ができ、安心して 医療を受けられ るまち	健康づくりの機会や対応への 満足度	町民意識調査で、「健康づくりの機会 や対応が充実している」ことに『満足』 または『やや満足』と回答した割合	16.0%	20.9%	17.8%	20.8%	22.2%	25.0%	数値向上
	特定健診の受診率	特定健診対象者のうち受診した人の 割合		49.3%	51.5%	57.9%	56.6%	60.0%	40代前半、60代前半の受診率の減少幅が他 に比べて大きかった。減少した初年度であるの で、今後も推移を注視していく。【保険医療課】
	病院や休日診療などの受診し やすさへの満足度	町民意識調査で、「病院や休日診療 などを受診しやすい」ことに『満足』ま たは『やや満足』と回答した割合	20.0%	23.2%	21.7%	23.6%	23.6%	30.0%	数値維持
5-2. 高齢者や障がい 者がいきいきと 暮らしているまち	認知症サポーター延べ養成者 数	認知症サポーター養成者数の延べ 人数	—	890人	1,310人	2,398人	2,886人	1,600人	R2目標達成
	「憩いのサロン」拠点数	憩いのサロンの拠点数	—	10か所	11か所	13か所	13か所	14か所	数値維持
5-3. みんながお互い を理解しやすい 心を持っている まち	地域で支え合う風土があるこ とへの満足度	町民意識調査で「地域でともに助け 合い、支え合う風土がある」ことに 『満足』または『やや満足』と回答した 割合	15.6%	15.8%	17.1%	11.4%	20.7%	20.0%	★R2目標達成
	男女共同参画への満足度	町民意識調査で「男女が差別なく参 画できる社会となっている」ことに『満 足』または『やや満足』と回答した割 合	10.6%	13.7%	10.8%	12.8%	14.3%	18.0%	数値向上
	異世代や外国人との交流があ る住民割合	町民意識調査で「他の世代の人や外 国人と交流したり、ふれあっている」 と回答した割合	27.3%	40.2%	40.3%	43.2%	38.5%	45.0%	H25以降上昇傾向であったが、H30において低 下した。全年代で低下傾向を示しているが、20 代の低下が大きく出ている。また、女性の低下 もみられる

【基本目標6】自然環境と生活環境が調和したまち

めざすべき まちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
6-1. みんなが自然環 境を大切に しているまち	自然を身近に感じられること への満足度	町民意識調査で「水や緑などの自然 を身近に感じられる」ことに『満足』ま たは『やや満足』と回答した割合	40.8%	46.4%	48.8%	46.6%	38.3%	50.0%	40代と高齢者を中心に低下している。武豊町 は自然公園もあり自然とふれ合う環境は整っ ているため、住民の自然に対する認識の変化 も考えられる
	河川の水質(石川、堀川、新 川でのBOD濃度の平均)	石川、堀川、新川でのBOD濃度の年 度平均値	3.5mg/L	3.3mg/L	2.6mg/L	2.9mg/L	3.0mg/L	3.1mg/L	R2目標達成
6-2. 環境へ負荷をか けない生活環境 になっているまち	省エネルギーやごみの減量に 心がけている住民割合	町民意識調査で「省エネルギーやリ サイクルに心がけている」と回答した 割合	85.8%	86.7%	92.1%	88.3%	83.8%	93.0%	全年代で値の低下がみられる。ただ、非常に 高い値での推移であるため、町として引き続き 啓発に努める
	1人当たりのもえるごみ排出 量/日	当該年度のごみ排出量(資源を除く) の住民一人当たりの1日の量	598g	573g	543g	548g	506g	550g	R2目標達成
	資源化率	当該年度の資源排出量/資源を含 めたごみの総排出量×100	29.6%	31.3%	31.6%	33.9%	35.3%	42.0%	数値向上
6-3. 快適で豊かな住 環境が整って いるまち	住環境への満足度	町民意識調査で「暮らしやすい住環 境が整っている」ことに『満足』または 『やや満足』と回答した割合	22.7%	41.5%	42.0%	52.0%	35.3%	45.0%	全年代で低下傾向にある。暮らしやすいとする 定義ついて求めるところが高くなってきていると 考える
	污水处理人口普及率	基準日(3月31日)時点の、公共下 水道、農業集落排水施設、合併処理浄 化槽、コミュニティ・プラントの污水処 理施設の整備人口/行政区域内人 口×100	65.0%	83.8%	84.4%	86.2%	86.7%	90.0%	数値向上

【基本目標7】活力に満ち誇りをもてるまち

めざすべき まちの姿	めざそう指標	説明	基準値(H18)	現状値(H25)	実績値(H27)	中間値(H29)	調査値(H30)	目標値(R2)	傾向・要因の分析(H29とH30を比較)
				実績値	中間値	中間値	実績値	当初目標値	
7-1. 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち	町の中心部の魅力や活気への満足度	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活気づいている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	5.6%	10.8%	9.5%	10.6%	11.3%	20.0%	数値向上
	鉄道主要駅の年間乗降客数	当該年度のJR武豊駅、名鉄上ヶ駅、知多武豊駅、富貴駅における年間乗降者数	170.7万人	178.0万人	189.5万人	193.7万人	200.6万人	180万人	R2目標達成
7-2. 産業が活性化しているまち	年間商品販売額	商業統計調査による、当該年度直近の年間商品販売額	(平成16年) 365.7億円	(平成24年) 284.6億円	(平成26年) 303.0億円	(平成28年) 330.9億円	— 億円	380億円	商業統計調査が他の調査に統合されたため値集計不能となった
	耕作放棄地面積	「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で把握されている遊休農地面積のうち、要活用農地を除いた面積	39.7ha	42.2ha	44.2ha	37.9ha	36.3ha	40.0ha	R2目標達成
	町内企業の従業者数	事業所・企業統計調査による従業者数	(平成16年) 13,878人	(平成24年) 14,970人	(平成26年) 15,114人	(平成28年) 14,105人	(平成30年) — 人	15,000人	事業所・企業統計調査が他の調査に統合されたため値集計不能となった
7-3. 住民が誇りを持って生活しているまち	町に愛着を持っている住民割合	町民意識調査で「武豊町に愛着がある」と回答した割合	77.2%	82.9%	85.2%	84.6%	80.2%	83.0%	武豊町で暮らしたい方の理由としまちに愛着があるとする回答が低下している。「交通の便がいい」「買い物外食が便利」の回答が高くなっており、回答が分散したための低下と考える。 参考：武豊町で暮らしたい方は値84.2%と高い値を維持している
	地元の農畜産物を購入するようにしている住民割合	町民意識調査で「できるだけ地元の農畜産物を購入するようにしている」と回答した割合	46.3%	51.4%	57.2%	55.8%	56.4%	55.0%	R2目標達成

第6次武豊町総合計画 基本構想（案） 目次構成

区分	目次構成	ページ
序論	1. 総合計画とは	1
	2. 計画の構成と役割	1
	3. 計画策定の背景 （3-1）社会潮流の変化 （3-2）まちの特性 （3-3）町民意向 ・暮らしやすさ ・町への愛着・誇り ・まちづくりに対する評価 ・幸福度	2～12 （2～4） （5～7） （8～12）
	4. 町の主要課題	13～15
本文	1. まちの将来像	17
	2. まちづくりの目標	17～20
	3. まちの主要指標 （3-1）人口・世帯 （3-2）就業者数 （3-3）幸福度	21～23 （21～22） （23） （23）
	4. 土地利用の方針	24～27
	5. 施策の体系	28～29

1-1 市街地・住環境



a

この基本計画に関連するSDGsマーク。
・関連の強いものから3つ掲載

現状と課題

現状

- 策定部会で取りまとめた主要課題
 - 昨年度各課より提出してもらった第5次総合計画達成度評価シートに記載された課題
- を取り巻く現状

課題

- 策定部会で取りまとめた主要課題
- 昨年度各課より提出してもらった第5次総合計画達成度評価シートに記載された課題

施策の基本方針(施策が目指す姿)

- 第5次総合計画の「22のめざすべきまちの姿」に相当するもの

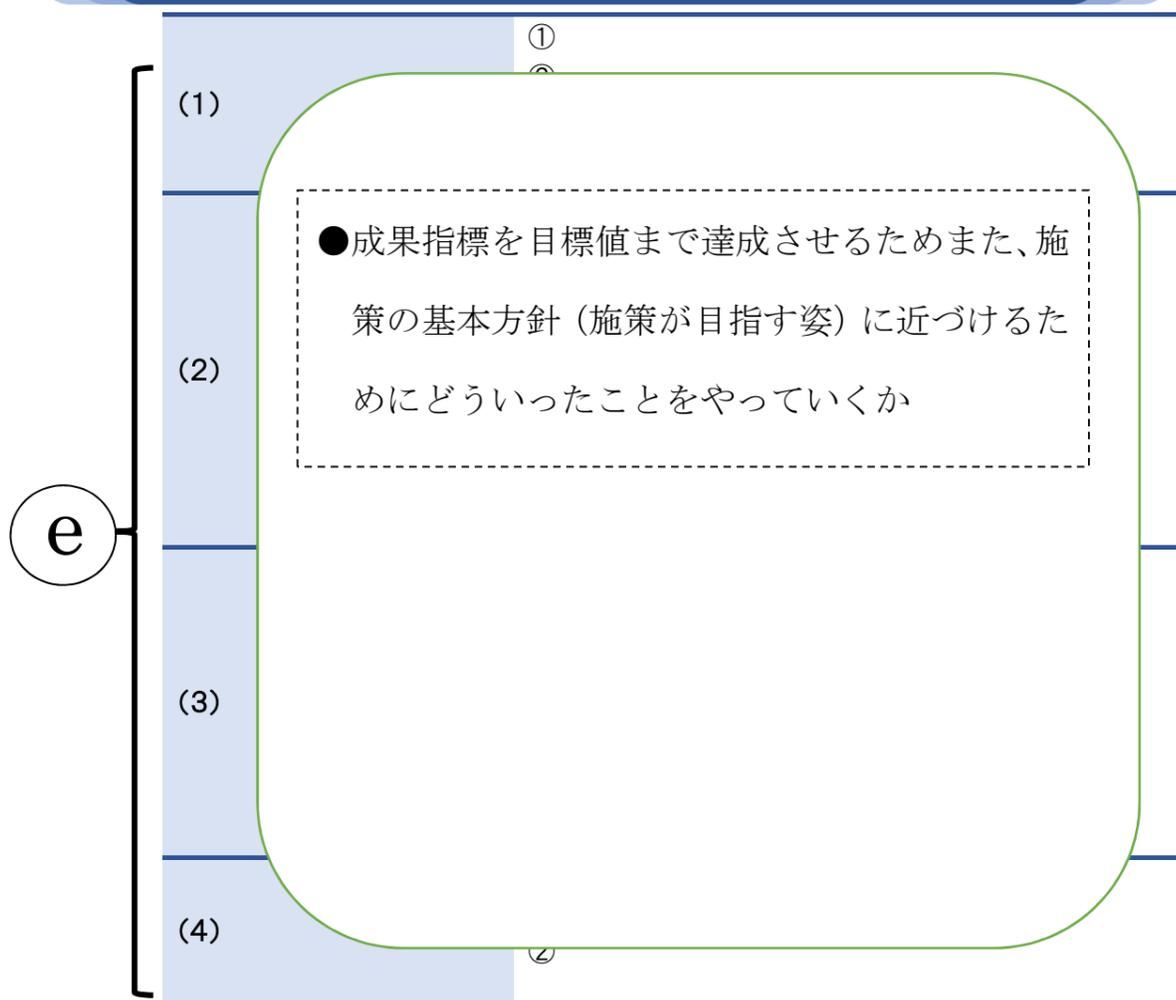
b

c

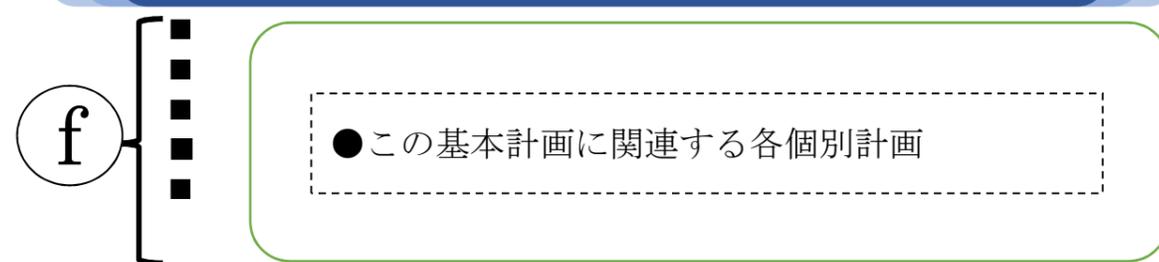
成果指標

d	めざそう指標	基準値 (2018)	中間目標 (2025)	最終目標 (2030)
	●この基本計画の成果を図る指標			
				%
				%

施策方針



関連計画



分野3
別編
施策

分野1
都市環境

基本計画一覧

施策分野	No	節	担当課(主)
分野1. 都市環境	1	1-1. 市街地・住環境	都市計画課
	2	1-2. 交通基盤	土木課
	3	1-3. 上下水道	上下水道課
分野2. 子ども	4	2-1. 子育て	子育て支援課
分野3. 学び	5	3-1. 学校教育	学校教育課
	6	3-2. 生涯学習	生涯学習課
	7	3-3. スポーツ	スポーツ課
	8	3-4. 文化芸術	町民会館
分野4. 健康・福祉	9	4-1. 健康・医療	健康課
	10	4-2. 地域福祉	福祉課
	11	4-3. 高齢者福祉	福祉課
	12	4-4. 障がい者福祉	福祉課
分野5. 安全・安心	13	5-1. 防災	防災交通課
	14	5-2. 防犯・交通安全	防災交通課
分野6. 産業・交流	15	6-1. 産業	産業課
	16	6-2. 観光・交流	産業課
分野7. 環境	17	7-1. 自然環境	環境課
	18	7-2. 生活環境	環境課
分野8. まちづくり ・地域経営	19	8-1. 住民活動・地域活動	企画政策課
	20	8-2. 相互理解	企画政策課
	21	8-3. タウンプロモーション	企画政策課
分野9. 行財政	22	9-1. 行政運営	秘書広報課・企画政策課
	23	9-2. 財政運営	総務課

SDGs の概要と武豊町における SDGs の取組みについて

○ SDGs（持続可能な世界を実現するための17のゴール）

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナースHIPで目標を達成しよう



<SDGsのアイコン>



○ SDGsとは

- 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ（行動計画）」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。
- 持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成されています

※持続可能な開発を達成するためには、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの主要素を調和させることが不可欠

※持続可能な開発とは将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発)

「つまり、私たちが将来に渡って地球に住み続けられるための17のゴールといえます」

○ SDGsの理念

- 「誰一人取り残さない -leave no one behind-」

○ 武豊町の取組み

- 次期総合計画で、SDGsのゴールを総合計画の基本計画に掲げる施策に関連付けをし、そのアイコンを掲げてまいります

総合計画審議会のスケジュール

時 期	主な審議内容
第1回 令和2年 2月5日(水) 13時30分～ 会場：役場2階 第2・3・4会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会会長の選出 ・ 第6次総合計画の諮問 ・ 第6次総合計画策定経過の確認 ・ 第5次総合計画成果指標について ・ 第6次総合計画(案)について(基本構想)
第2回 4月24日(金) 10時00分 ～12時00分(終了予定) 会場：役場2階 第2・3・4会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次総合計画(案)の検討・修正 (基本構想・基本計画)
第3回 7月10日(金) 10時00分 ～12時00分(終了予定) 会場：思いやりセンター 2階ABC会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次総合計画(案)の検討・修正 (基本構想・基本計画)
第4回 8月4日(火) 13時30分 ～15時30分(終了予定) 会場：役場2階 第2・3・4会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次総合計画(案)の検討・修正 (基本構想・基本計画)
第5回 10月15日(木)または 10月16日(金)(調整中) 10時00分 ～12時00分(終了予定) 会場：役場2階 第2・3・4会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6次総合計画の答申